

ごあいさつ

埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)は、県内産業の技術力を強化し、国際競争力を備えた産業の振興を図ることを目的に、平成15年4月にオープンいたしました。早くも発足から10年余りが経過いたしました。

その間、川口市内 SKIP シティの本所と熊谷市内の北部研究所の2拠点体制で、研究開発支援や技術支援、情報提供、企業間交流活動支援などの産業振興施策事業を展開してまいりました。

この10年間で依頼試験・機器開放の収入は約 2.3 倍に増加するなど、センターの業務は、おおむね良好な成果を得ています。また、昨今の円安傾向や株高など景況感に明るさも見え始めておりますが、消費増税や欧州債務危機など、先行き不透明な状況も払拭できないことから、国内企業の業績確保のためにも、持続的な支援がより一層必要となってまいります。

そうした支援を行うために必要な、組織の枠組みを越えた SAITEC 内特別チーム活動として平成24年度には、節電・省エネ、BEMS/HEMS、材料、ソフトウェアのチームを編成し、喫緊の課題に柔軟に対応いたしました。今後も時代環境の変化に応じて、適宜チーム編成を組み替えながら運営し、同時に県施策に連動した先導的研究へと移行させ、企業支援に役立つ知見も集積していくことにいたします。

平成24年度は、技術相談件数 18,471 件、依頼試験件数 21,538 件、機器開放件数 4,214 件、機器開放利用時間 54,438 時間となっており、中小企業の皆様を中心として、数多くの御利用をいただきました。引き続き企業ニーズ・地域ニーズの把握に努め、本所、北部研究所の両拠点にて常に技術のメガトレンド(趨勢)をとらえ、新規産業への支援を可能にする体制としてまいります。

本業務報告は、平成24年度埼玉県産業技術総合センターの業務実績を取りまとめたものでございます。御参考にしていただければ幸いです。

平成25年8月

埼玉県産業技術総合センター
センター長 牟田口 照恭

平成24年度業務報告目次

ごあいさつ	i
1 埼玉県産業技術総合センター概要	1
1.1 沿革	1
1.2 組織と事務分掌	2
1.3 職員	3
1.4 所在地、土地建物	4
1.5 会計	5
1.6 貸会議室等	6
1.6.1 多目的ホール、会議室の使用料等	6
1.6.2 多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数	6
1.6.3 多目的ホール、会議室の利用者別利用件数	6
1.6.4 多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数	6
1.7 試験研究設備の整備状況	7
2 技術支援	8
2.1 技術相談・技術指導	8
2.1.1 職員による技術相談・技術指導	8
2.1.2 技術アドバイザー指導事業	10
2.2 依頼試験	11
2.2.1 依頼試験	11
2.2.2 放射線測定依頼試験	12
2.2.3 試験所の登録	12
2.3 機器開放	13
2.3.1 機器開放	13
2.3.2 機器操作技術認定研修	14
2.4 技術普及業務	14
2.4.1 研究成果の技術移転	14
2.4.2 SAITEC 研究発表会	14
2.4.3 SAITEC 研究発表会(熊谷会場)	15
2.5 次世代自動車支援事業の運営支援	15
2.5.1 部会及び各研究会参加企業数	15
2.5.2 研究会等の名称及び担当者一覧表	15
2.5.3 各研究会の概要	16
2.5.4 講演会・セミナー	16
2.6 技術講習会、講演会の開催	17
2.7 培養酵母の頒布	24
3 研究開発	25
3.1 研究開発	25
3.1.1 政策的研究課題	25
3.1.2 受託研究	26
3.2 研究開発の実用化・商品化	26
3.3 客員研究員	27
3.4 研究成果の公表	27
3.4.1 センター主催の発表	27
3.4.2 学会等への発表(国際会議含む)	28
3.5 研究課題の評価	30
3.5.1 事前評価	30

3.5.2	事後評価	30
3.5.3	中間評価	30
4	研究開発支援	31
4.1	産学官連携の推進	31
4.1.1	産学官連携推進について	31
4.1.2	産学官連携関連展示会(主催事業)	31
4.1.3	産学官連携に関連する展示会	32
4.1.4	SAITEC 内特別チーム	32
4.2	助成制度への取り組み	33
4.2.1	研究開発型企業支援事業	33
4.2.2	埼玉県産業技術総合センターが参加する産学官共同研究実施実績	33
4.3	特許の取得推進とその活用	35
4.3.1	産業財産権の一覧	35
4.3.2	実施許諾	37
5	交流	38
5.1	異業種交流支援事業	38
5.1.1	産学官交流プラザ	38
5.1.2	埼玉県北部地域技術交流ネットワーク(埼玉北ネット)	38
5.1.3	埼玉食品テクノプラザ	39
5.1.4	さきたま利根テクノプラザ(STTEP)	40
5.2	新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)	41
5.3	首都圏連合推進事業(公設試版)【研究発表:他県を含む】	43
5.4	RINGS NET(新潟、群馬、埼玉 3 県公設試連携)	45
5.5	講演会等講師派遣	46
5.6	審査会等への派遣	47
5.7	技術評価	48
5.8	会議等への参加	49
6	情報提供	53
6.1	研究報告	53
6.2	利用促進	53
6.2.1	業務報告	53
6.2.2	インターネットによる技術情報の提供	53
6.2.3	記者発表	53
6.2.4	マスメディア報道	53
7	起業化支援	56
7.1	入居企業	56
7.2	支援実績	56
8	人材育成	57
8.1	研修生の受け入れ	57
8.1.1	中小企業等研究者養成研修事業	57
8.1.2	インターンシップ事業	58
8.1.3	平成 24 年度製造カレッジ事業(関東地区)インターンシップ	58
8.2	技術競技会	59
8.2.1	第 48 回埼玉県製造技術コンクール	59
8.2.2	平成 24 年度(第 55 回)埼玉県めつき技術競技会	60
8.2.3	平成 24 酒造年度春季清酒鑑評会	60
8.3	ものづくり開発支援研修	61
8.4	科学技術体験学習の実施	63
8.4.1	スーパーサイエンスハイスクール事業	63

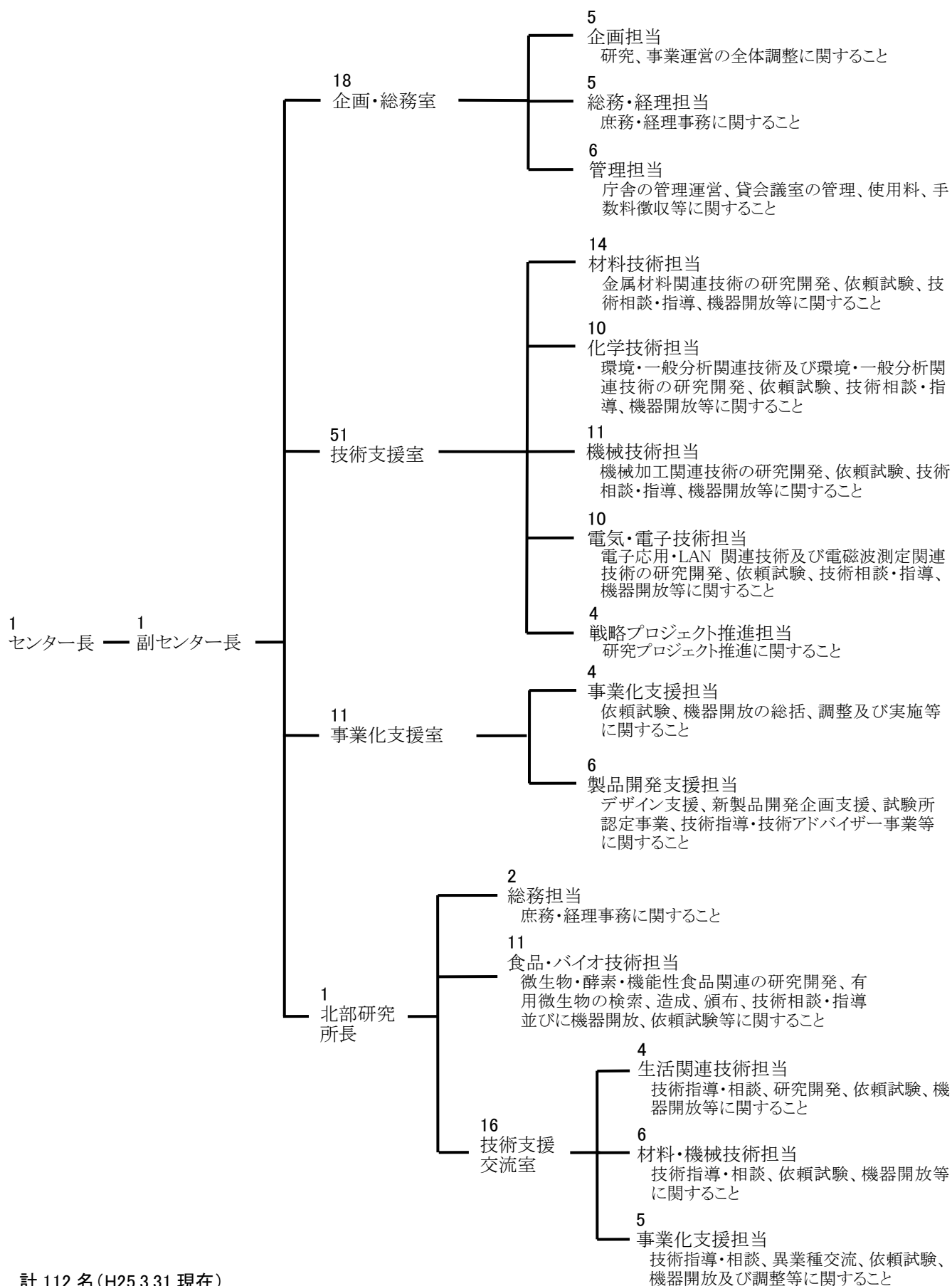
9	その他の事業	64
9.1	職員研修	64
9.2	顧客満足度(CS)アンケート	65
9.3	運営委員会の開催	65
9.3.1	開催状況	65
9.3.2	運営委員	65

1 埼玉県産業技術総合センター概要

1.1 沿革

大正10年	埼玉県熊谷工業試験場設立、庶務部、染色部及び機織部の3部を設置
大正11年	整理部を増設し4部となる
大正12年	図案部を増設し5部となる
昭和 5年	醸造部を増設し(昭和21年に技術部に改称)6部となる 埼玉県秩父工業試験場設立、熊谷工業試験場の機織部及び図案部を移転
昭和 6年	埼玉県熊谷工業試験場浦和分場を設置し整理部を移転
昭和 8年	埼玉県川口鋳物工業試験場設立
昭和 9年	浦和分場を埼玉県染色試験場と改称し熊谷工業試験場の染色部を移転、 熊谷工業試験場は名称を埼玉県醸造試験場と改称
昭和11年	埼玉県小川製紙研究所設立
昭和12年	埼玉県仏子染織指導所設立 埼玉県秩父工業試験場を埼玉県秩父染織指導所と改称 埼玉県川口鋳物工業試験場を埼玉県川口重工業指導所と改称 埼玉県醸造試験場に染色部を再設置し(昭和18年に廃止)、埼玉県熊谷醸造指導所と改称 埼玉県小川製紙研究所を埼玉県小川製紙指導所と改称
昭和19年	埼玉県熊谷醸造指導所を埼玉県醸造指導所と改称 埼玉県秩父染織指導所を埼玉県秩父工業指導所と改称 埼玉県仏子染織指導所を埼玉県繊維工業指導所と改称 埼玉県小川製紙指導所を埼玉県製紙工業指導所と改称
昭和20年	埼玉県川口重工業指導所を埼玉県鋳物指導所と改称
昭和24年	埼玉県行田繊維工業指導所設立
昭和31年	埼玉県醸造指導所を埼玉県醸造試験場と改称 埼玉県秩父工業指導所を埼玉県秩父繊維工業試験場と改称 埼玉県繊維工業指導所を埼玉県繊維工業試験場と改称 埼玉県行田繊維工業指導所を埼玉県行田繊維工業試験場と改称 埼玉県製紙工業指導所を埼玉県製紙工業試験場と改称 埼玉県鋳物指導所を埼玉県鋳物工業試験場と改称
昭和36年	埼玉県デザインセンターを大宮市の埼玉県商工会館内に設置
昭和38年	埼玉県鋳物工業試験場を川口市本町から川口市芝に移転し、埼玉県鋳物機械工業試験場と改称
昭和42年	埼玉県工芸試験場を浦和市に設立、デザインセンターを廃止
昭和47年	醸造試験場の建設工事竣工、埼玉県食品工業試験場と改称
昭和58年	埼玉県工芸試験場を埼玉県工業技術研究所に改称 埼玉県行田繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場に、埼玉県繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場入間支場に、埼玉県秩父繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場秩父支場に改組
平成 7年	鋳物機械工業試験場において、新技術事業団(現 (独)科学技術振興機構)及び科学技術庁金属材料研究所との共同研究を開始するため、新技術事業団埼玉研究室及び新技術事業団のプレハブ実験棟を設置
平成10年	5研究機関7施設を再編・統合し、埼玉県工業技術センター設立 本所(川口市・旧鋳物機械工業試験場)、南部研究所(浦和市・旧工業技術研究所)及び北部研究所(熊谷市・旧食品工業試験場)の3施設を設置
平成15年	埼玉県工業技術センターを廃止し、埼玉県産業技術総合センター設立 埼玉県産業技術総合センター(川口市)及び埼玉県産業技術総合センター 北部研究所(熊谷市・旧埼玉県工業技術センター北部研究所)の2施設を設置

1.2 組織と事務分掌



1.3 職員

センター長（事）	牟田口 照 恭
副センター長兼室長（事）	鈴 木 康 之

本 所

企画・総務室		副 室 長（事）	大 山 亨
副 室 長（技）	高 橋 利 男		
企画担当		主任 研究員（技）	小 口 正 浩
専 門 研 究 員（技）	原 田 勝 利	主 任（技）	鈴 木 浩 之
主 任（技）	森 田 寛 之	技 師	矢 部 友 哉
総務・経理担当		担 当 部 長（事）	山 岸 善 行
主 任（事）	籠 将 威	主 任（事）	井 上 香
主 任（事）	荻 原 弘 之	非 常 勤	鎌 田 芳 江
管理担当		担 当 部 長（事）	大 塩 澄 男
担 当 課 長（事）	永 野 幸 彦	主 任（事）	三 田 和 明
主 任（事）	永 瀬 玲 子	主 任（事）	田 中 純 子
主 任（事）	木 部 繭 子	主 事	芳 賀 祐 子
技術支援室		副 室 長（技）	小 林 孝 司
副 室 長（技）	戸 枝 保		
材料技術担当		担 当 部 長（技）	笹 川 俊 夫
担 当 部 長（技）	澁 谷 康 彦	担 当 部 長（技）	麻 生 信 之
担 当 部 長（技）	永 野 正 明	主 任 研 究 員（技）	永 井 寛
主 任 研 究 員（技）	福 島 泰 年	専 門 研 究 員（技）	矢 澤 貞 春
専 門 研 究 員（技）	篠 崎 誠	専 門 研 究 員（技）	進 藤 久 宜
専 門 研 究 員（技）	清 水 宏 一	主 任（技）	井 上 裕 之
主 任（技）	秋 山 稔	主 任（技）	菊 池 和 尚
技 師	細 見 喜 洋		
化学技術担当		担 当 部 長（技）	赤 澤 力
専 門 研 究 員（技）	鈴 木 昌 資	専 門 研 究 員（技）	唐 牛 聖 文
専 門 研 究 員（技）	奥 野 慎	専 門 研 究 員（技）	熊 谷 知 哉
専 門 研 究 員（技）	佐 野 勝	主 任（技）	灘 野 朋 美
主 任（技）	坂 本 大 輔	主 任（技）	原 田 雅 典
技 師	須 川 真 希 代		
機械技術担当		担 当 部 長（技）	町 田 芳 明
専 門 研 究 員（技）	出 口 貴 久	専 門 研 究 員（技）	小 熊 広 之
専 門 研 究 員（技）	宇 野 彰 一	主 任（技）	南 部 洋 平
主 任（技）	島 崎 景 正	主 任（技）	山 田 岳 大
主 任（技）	落 合 一 裕	技 師	蓮 俊 介
技 師	長 野 隼 人	技 師	内 藤 理 恵
電気・電子技術担当		担 当 部 長（技）	安 藤 昌 弘
専 門 研 究 員（技）	荻 野 重 人	専 門 研 究 員（技）	内 藤 丈 資
専 門 研 究 員（技）	能 戸 崇 行	主 任（技）	本 多 春 樹
主 任（技）	田 中 智 大	主 任（技）	宗 形 隆 史
技 師	岩 崎 正 太	技 師	岡 林 美 由 貴
技 師	鈴 木 啓 介		
戦略プロジェクト推進担当		担 当 部 長（技）	関 根 正 裕
主 任（技）	栗 原 英 紀	主 任（技）	半 田 隆 志
技 師	稲 本 将 史		

事業化支援室		副 室 長 (技)	細 野 光 広
事業化支援担当		専 門 員 (技)	石 橋 健 司
専 門 員 (技)	棚 橋 綱 男	専 門 員 (技)	大 川 薫
専 門 員 (技)	齊 藤 弘 美		
製品開発支援担当		担 当 部 長 (技)	影 山 和 則
担 当 部 長 (技)	増 田 こずえ	担 当 部 長 (技)	名 倉 寿 夫
担 当 部 長 (技)	巻 島 秀 男	専 門 研 究 員 (技)	山 川 徹 郎
主 任 (技)	門 間 由 洋		

北部研究所

所 長 (技)	新 井 尚 機		
総務担当		担 当 部 長 (事)	村 田 恵美子
主 任 (事)	今 井 精 一		
食品・バイオ技術担当		担 当 部 長 (技)	小 島 登貴子
主任 研究員 (技)	横 堀 正 敏	専 門 研 究 員 (技)	細 井 永 次
主 任 (技)	常 見 崇 史	主 任 (技)	樋 口 誠 一
主 任 (技)	富 永 達 矢	主 任 (技)	鶴 藺 大
主 任 (技)	海 野 まりえ	技 師	南 澤 賢
技 師	成 澤 朋 之	技 師	鈴 木 康 修
技術支援交流室		室 長 (技)	増 田 伸 二
生活関連技術担当		担 当 部 長 (技)	宮 原 進
担 当 部 長 (技)	高 橋 広 子	主任 研究員 (技)	清 水 英 明
技 師	飯 塚 真 也		
材料・機械技術担当		担 当 部 長 (技)	小 林 茂
主任 研究員 (技)	山 口 葉 子	専 門 研 究 員 (技)	大 木 健 司
主 任 (技)	関 根 俊 彰	主 任 (技)	鈴 木 理 博
専 門 員 (技)	簀 輪 幸 三		
事業化支援担当		担 当 部 長 (事)	高 木 利 光
専 門 員 (技)	村 田 一 英	専 門 員 (技)	北 村 英 三
専 門 員 (技)	高 柳 博 通	専 門 員 (技)	竹 内 了

(H25.3.31 現在)

1.4 所在地、土地建物

◆ 埼玉県産業技術総合センター

所在地 川口市上青木三丁目12番18号

土地 18,352.58 平方メートル
建物

埼玉県産業技術総合センター 27,287.63 平方メートル

埼玉県生活科学センター 4,420.30 平方メートル

川口市立科学館 3,784.61 平方メートル

合 計 35,492.54 平方メートル

構 造 地上9階／地下1階

◆ 北部研究所

所在地 熊谷市末広二丁目133番地

土地 5,923.30 平方メートル

建物

本 館 1,687.92 平方メートル

試験棟 494.27 平方メートル

新 館 602.84 平方メートル

試験棟 312.86 平方メートル

その他 73.60 平方メートル

合 計 3,171.49 平方メートル

1.5 会計

歳入

(単位:円)

科目	本所	北部	合計
使用料及び手数料	215,493,959	16,407,573	231,901,532
使用料	141,879,139	5,380,973	147,260,112
行政財産使用料	35,199,111	510,663	35,709,774
商工業使用料	106,680,028	4,870,310	111,550,338
手数料	73,614,820	11,026,600	84,641,420
商工業手数料	73,614,820	11,026,600	84,641,420
財産収入	15,541,614	657,000	16,198,614
財産運用収入	15,455,136	0	15,455,136
財産貸付収入	15,455,136	0	15,455,136
財産売払収入	86,478	657,000	743,478
物品売払収入	86,478	0	86,478
生産物売払収入	0	657,000	657,000
諸収入	44,293,070	1,851,200	46,144,270
受託事業収入	18,602,350	1,301,200	19,903,550
商工受託事業収入	18,602,350	1,301,200	19,903,550
雑入	25,690,720	550,000	26,240,720
違約金延納利息	0	0	0
雑入	25,690,720	550,000	26,240,720
合計	275,328,643	18,915,773	294,244,416

歳出

(単位:円)

科目	本所	北部	合計
総務費	38,094,394	3,191,110	41,285,504
総務管理費	1,114,230	3,191,110	4,305,340
一般管理費	245,340	1,924,460	2,169,800
人事管理費	868,890	42,980	911,870
財産管理費	0	1,223,670	1,223,670
県民費	36,980,164	0	36,980,164
消費者対策費	36,980,164	0	36,980,164
民生費	0	0	0
災害救助費	0	0	0
救助費	0	0	0
労働費	22,134	4,510	26,644
労政費	22,134	4,510	26,644
労政総務費	22,134	4,510	26,644
商工費	438,067,801	59,464,357	497,532,158
商工業費	438,067,801	59,464,357	497,532,158
商工総務費	3,105,952	3,865,825	6,971,777
商工振興費	39,565,362	661,290	40,226,652
産業技術総合センター費	395,396,487	54,937,242	450,333,729
合計	476,184,329	62,659,977	538,844,306

1.6 貸会議室等

1.6.1 多目的ホール、会議室の使用料等

(円)

階	区分 施設名	面積 (m ²)	定員 (人)	午 前	午 後	夜 間	超 過 (1時間)
1	多目的ホール1	199.64	130	6,180	8,240	6,180	2,060
1	多目的ホール2	273.92	170	8,480	11,300	8,480	2,820
3	3A会議室	66.46	30	2,050	2,740	2,050	680
3	3B会議室	66.46	30	2,050	2,740	2,050	680
4	4A会議室	66.46	33	2,050	2,740	2,050	680
4	4B会議室	66.46	33	2,050	2,740	2,050	680
4	4C会議室	70.92	33	2,190	2,920	2,190	730

1.6.2 多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数

	利用件数(件)				利用人数(人)			
	午 前	午 後	夜 間	計	午 前	午 後	夜 間	計
多目的ホール1	118	129	75	322	19,950	20,687	13,664	54,301
多目的ホール2	123	128	74	325	20,415	20,602	13,624	54,641
3A会議室	99	142	63	304	1,546	2,288	1,274	5,108
3B会議室	121	145	66	332	2,262	2,674	1,277	6,213
4A会議室	108	128	88	324	2,851	3,230	2,096	8,177
4B会議室	95	124	80	299	2,598	3,058	1,882	7,538
4C会議室	80	99	60	239	2,127	2,502	1,412	6,041
合 計	744	895	506	2,145	51,749	55,041	35,229	142,019

1.6.3 多目的ホール、会議室の利用者別利用件数

	県	川口市	その他 官公庁	公社 公団	入居商 工団体	他の商 工団体	民間 事業所	その他	合計
件 数	325	46	455	3	238	79	659	340	2,145
百分比(%)	15.2	2.1	21.2	0.1	11.1	3.7	30.7	15.9	100

1.6.4 多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数

	会議	研修会	講演会	大会	展示会	その他	合計
件 数	673	389	80	10	36	957	2,145
百分比(%)	31.4	18.1	3.7	0.5	1.7	44.6	100

1.7 試験研究設備の整備状況

新規購入機械器具

品名	数量	銘柄・規格等	設置場所
X線回折装置※	1	(株)リガク SmartLab (9kW)-RPA	本所
オゾンウェザーメーター	1	スガ試験機(株) OMS-LN	本所
CNC 旋盤	1	ヤマザキマザック(株) QUICK TURN SMART 200	本所
分析天秤	2	メラー・トレド(株) XP205DRV	本所
ピペット洗浄機	1	ヤマト科学 AW31	本所
ポータブルガス測定器	1	イグザム 7000	本所
リフター	1	トラスコ中山(株) BEN-H50-15B	本所
ポータブル超音波探傷器	1	GEセンシング&インスペクション・テクノロジー(株) USM35X JE	本所
電気マッフル炉	1	アドバンテック東洋(株) FUM322PB	北部研究所
真空凍結乾燥機	1	(株)宝製作所 TF10-80TNNN	北部研究所
標準光源装置	1	大栄化学精器製作所 KD-6L	北部研究所
精密ステージ	1	中央精機 RS-147-2 他	北部研究所
マグネットチャック	1	カネテック RMT-1325,CMR-1018,KMV-50D, KMV-125D	北部研究所
乾燥機	2	アズワン MOV-4508	北部研究所

※ 財団法人 JKA の「公設試験研究所設備拡充補助事業」による

2 技術支援

中小企業の技術支援のため、技術相談・技術指導、企業からの依頼に応じた依頼試験、試験研究機器の開放等を行うとともに、研究発表会等により技術の普及に努めた。また(財)埼玉県産業振興公社が研究会等を運営し、電気自動車の分解展示等を行う際の支援を当センターが行った。

2.1 技術相談・技術指導

中小企業の生産活動における技術的問題の解決、新製品や新商品の開発等を支援するため、当センター職員による相談・指導及び外部の技術専門家、技術アドバイザー等による技術相談・指導を実施した。

2.1.1 職員による技術相談・技術指導

本所

分類	項目	相談件数
機械関連	切削に関すること	436
	特殊加工に関すること	345
	設計に関すること	76
	精密測定に関すること	2,451
鋳物関連	鉄鋳物に関すること	142
	非鉄鋳物に関すること	39
	鋳型・鋳造方案に関すること	40
	鋳物不良対策に関すること	8
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	57
	腐食、防食に関すること	291
	熱処理に関すること	90
	塗装技術に関すること	2
材料試験・組織等	成分分析(金属)に関すること	501
	成分分析(非金属)に関すること	1,721
	材料強度等に関すること	719
	材料の物性、工業規格に関すること	342
	顕微鏡組織観察等に関すること	364
	材料のクレーム対策に関すること	7
	非破壊検査に関すること	111
電気・電子・制御関連	自動化、省力化に関すること	4
	制御技術に関すること	5
	電気、電子技術に関すること	1,277
窯業関連	窯業(製造)技術に関すること	0
	セラミックス技術に関すること	15
プラスチック関連	プラスチック技術に関すること	474
	複合・接着技術に関すること	38
デザイン関連	商品企画に関すること	42
	プロダクトデザインに関すること	53
	グラフィックデザインに関すること	4
福祉技術関連	福祉・リハビリテーション用具に関すること	464
環境技術関連	再資源化に関すること	6
	廃棄物処理に関すること	32
	環境等に関すること	15
	環境浄化技術に関すること	4
	省エネ技術に関すること	186
情報・共通関連	技術情報一般に関すること	114
	機器操作に関すること	211
	製品開発に関すること	615
	生産技術に関すること	75
	材料・製品試験に関すること	452
	講習会、研修会等に関すること	57
	アドバイザー指導等に関すること	24
	異業種交流に関すること	10
	情報検索に関すること	5
	特許に関すること	78
	制度融資、補助金等に関すること	67
	その他上記以外の事項	1,157
計 (うち実地指導件数)		13,226 (1,651)

北部研究所

分類	項目	相談件数
分析関連	組成・物性に関すること	132
	素材分析に関すること	204
	成分分析(金属)に関すること	88
	成分分析(非金属)に関すること	74
繊維・デザイン関連	染色加工等に関すること	4
	印刷技術に関すること	4
	染色堅ろう度等に関すること	86
	型紙調整等に関すること	7
	デザイン等に関すること	243
食品関連	酒類の製造に関すること	647
	穀類食品の製造に関すること	236
	調味料の製造に関すること	15
	漬物の製造に関すること	83
	その他食品の製造に関すること	119
	食品成分に関すること	83
	食品素材に関すること	41
	微生物・酵素に関すること	510
	食品分析に関すること	355
素材関連	原材料・薬剤・原料調整に関すること	8
	素材の応用技術に関すること	94
設計・生産関連	切削に関すること	0
	特殊加工(機械等)に関すること	34
	設計に関すること	35
	精密測定に関すること	478
	生産技術(機械等)に関すること	6
	材料・製品試験(機械等)に関すること	74
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	8
	腐食・防食に関すること	258
	熱処理に関すること	70
	塗装技術に関すること	1
材料試験・組織等	材料の強度等に関すること	197
	材料の物性・工業規格に関すること	9
	顕微鏡組織観察等に関すること	76
	材料のクレーム対策に関すること	13
	非破壊検査に関すること	3
環境技術関連	再資源化に関すること	9
	省エネ技術に関すること	23
情報・共通関連	技術情報一般に関すること	30
	機器操作に関すること	175
	コンピュータ等に関すること	6
	講習会・研究会・鑑評会に関すること	138
	技術アドバイザー指導等に関すること	36
	異業種交流に関すること	44
	法規・規格・表示に関すること	3
	産業情報等の提供に関すること	15
	行政情報等の提供に関すること	68
その他上記以外の事項	403	
小計 (うち実地指導件数)		5,245 (880)

機関名	相談件数 (うち実地指導件数)
本所	13,226(1,651)
北部研究所	5,245(880)
合計	18,471(2,531)

2.1.2 技術アドバイザー指導事業

県内中小企業等の技術的課題を解決するため、依頼のあった企業に技術アドバイザーを派遣した。その主な成果は、次のとおりである。

- 新規製品の開発について有益な助言が得られた。
- ISO 取得について有益な助言が得られた。
- 工場の省エネについて有益な助言が得られた。
- 生産工程時間の短縮について有益な助言が得られた。
- 社内の生産設備の配置について有益な助言が得られた。

○ 技術アドバイザー指導件数

本 所

産 業 分 野	企 業 数
家具・装備品製造業	1
金属製品製造業	3
はん用機械器具製造業	2
生産用機械器具製造業	2
業務用機械器具製造業	1
電子部品・デバイス・電子回路製造業	2
電気機械器具製造業	2
輸送用機械器具製造業	2
その他の製造業	3
情報サービス業	1
機械器具小売業	1
その他の小売業	1
無店舗小売業	1
政治・経済・文化団体	1
小 計	23

技術指導分野	件数
生産管理	7
認証取得	1
新製品開発	8
省エネ	1
工場計画	1
情報化技術	1
品質改善	2
経営及び生産管理	1
販売拡大	1
小 計	23

北部研究所

産 業 分 野	企 業 数
食料品製造業	2
繊維工業	2
電気機械器具製造業	1
小 計	5

技術指導分野	件数
生産管理	4
新製品開発	1
小 計	5

機 関 名	指導企業数	指導日数
本 所	23	95
北部研究所	5	36
合 計	28	131

2.2 依頼試験

企業からの依頼に応じて、製品や部品、材料等の試験、測定、分析などを実施した。

2.2.1 依頼試験

本所で依頼試験件数の多かった項目は、機器分析、精密測定及び強度試験であった。北部研究所では、精密測定、その他依頼試験及び強度試験であった。

本所

種 類		件 数	金額(円)
分析	一般分析	234	416,060
	機器分析	5,288	33,552,300
材料試験	強度試験	2,619	2,980,700
	物理試験	109	489,820
	組織試験	1,361	5,372,470
	耐候性試験	349	8,321,710
	表面処理試験	1,234	3,941,820
測定及び検査	精密測定	2,697	6,072,550
	EMC測定	92	999,190
	非破壊検査	90	603,000
調製	試験片調製	911	733,520
立会試験		1	1,270
その他依頼試験		1,787	10,138,480
オーダー試験		2	12,090
試験成績書の複本		29	7,540
写真の焼増し又はカラー複写		11	4,290
小 計		16,814	73,646,810

北部研究所

種 類		件 数	金額(円)
分析	一般分析	314	287,360
	機器分析	325	1,335,770
材料試験	強度試験	475	376,690
	物理試験	420	814,240
	組織試験	27	27,760
	表面処理試験	372	1,925,550
	染色堅ろう度試験	364	257,950
測定及び検査	精密測定	1,423	3,047,780
微生物試験	生菌数の測定	5	7,100
官能試験	温度設定のない試験	5	1,300
調製	試験片調製	5	2,850
その他の依頼試験		989	2,942,250
小 計		4,724	11,026,600

機 関 名	件 数	金額(円)
本所	16,814	73,646,810
北部研究所	4,724	11,026,600
合 計	21,538	84,673,410

2.2.2 放射線測定依頼試験

平成23年3月の福島第一原子力発電所の事故発生により、放射能汚染の風評被害が工業製品にも起きた。風評被害に対応するため、平成23年度より工業製品の放射線測定の依頼試験を行っている。

検査対象	検査内容	検査実施場所	測定単位
1検体の一辺の大きさ80cm以内、重量30kg以内の工業製品(個体工業製品に限る)	サーバイメータによる製品表面の放射線量測定	本所	Cpm
			μ Sv/h
		北部研究所	Cpm
			μ Sv/h

機関名	件数	検体数
本所	53	209
北部研究所	38	197
合計	91	406

2.2.3 試験所の登録

当センターは、独立行政法人製品評価技術基盤機構において、工業標準化法の規定に基づく製品試験を行う者(試験所)を対象とした登録制度に登録されている。また、平成24年8月1日付けで、下記4区分について、登録の更新がなされた。

試験方法の区分の名称	製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	登録年月日
燃焼-赤外線吸収法	試験方法規格 JIS G 1211-3 [適用範囲 $0.040\% \leq C \leq 4.00\%$]	平成20年8月1日
ロックウェル硬さ試験	試験方法規格 JIS Z 2245 [適用範囲 $20\text{HRC} \leq \text{ロックウェル硬さ} \leq 60\text{HRC}$]	平成20年8月1日
金属材料引張試験	試験方法規格 JIS Z 2241 [適用範囲 $12\text{ kN} \leq \text{試験力} \leq 200\text{ kN}$]	平成21年7月23日
蛍光X線分析	試験方法規格 JIS G 1256 [試験範囲(単位:%(m/m)) 低合金鋼 $0.01 \leq \text{Mn} \leq 2.00$ $0.01 \leq \text{Ni} \leq 3.80$ $0.01 \leq \text{Cr} \leq 4.50$ $0.01 \leq \text{Mo} \leq 1.20$ ステンレス鋼 $0.10 \leq \text{Mn} \leq 7.50$ $0.25 \leq \text{Ni} \leq 24.0$ $8.00 \leq \text{Cr} \leq 22.5$ $0.02 \leq \text{Mo} \leq 3.80$]	平成21年7月23日

2.3 機器開放

企業の研究開発を支援するため、試験研究機器の開放及び操作技術の認定研修を実施した。

2.3.1 機器開放

企業が利用できる機器は、設計・加工機器、表面観察機器、強度試験機器、精密測定機器、測定機器、試料調整機器、電気・電子測定機器、評価試験機器、分析機器に分類されている。機器の総数は、合計 188 機器である(平成 25 年 4 月現在)。

本所で特に利用件数の多かった機器は電波暗室電磁波試験測定装置、次いでシールドルーム電磁波試験測定装置、電磁波障害対策室電磁波試験測定装置の順であった。利用時間として最も多かった機器は、恒温恒湿槽、次いで、冷熱衝撃試験機、複合サイクル試験機の順であった。

北部研究所で利用件数の多かった機器は波長分散型蛍光X線分析装置、万能材料試験機(10kN)、ロックウェル硬度計の順であった。利用時間として最も多かった機器は、冷熱衝撃試験機、次いで恒温恒湿槽、波長分散型蛍光X線分析装置の順であった。

分類別の利用総額と総利用件数及び総利用時間は次のとおりであった。指導時間は、開放機器を使用する際の有料による指導の時間数である。

本所

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
設計・加工機器	2,379,000	245	1,710	2,019,000	150	360,000
表面観察機器	309,130	232	885	297,130	5	12,000
強度試験機器	795,560	341	842	344,360	188	451,200
精密測定機器	3,007,090	572	2,324	1,415,890	663	1,591,200
測定機器	1,156,420	448	1,731	880,420	115	276,000
試料調製機器	900,820	71	4,284	872,020	12	28,800
電気・電子測定機器	34,158,310	1,228	4,530	27,632,710	2,719	6,525,600
評価試験機器	10,984,010	263	26,672	10,938,410	19	45,600
分析機器	1,931,750	308	881	1,890,950	17	40,800
小計	55,622,090	3,708	43,859	46,290,890	3,888	9,331,200

北部研究所

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
設計・加工機器	25,310	26	57	20,510	2	4,800
表面観察機器	21,320	18	56	9,320	5	12,000
強度試験機器	286,620	117	367	121,020	69	165,600
精密測定器	496,540	64	179	227,740	112	268,800
測定機器	108,790	74	242	48,790	25	60,000
試料調製機器	14,670	3	33	12,270	1	2,400
評価試験機器	3,294,680	71	9,147	3,292,280	1	2,400
分析機器	594,340	133	498	558,340	15	36,000
小計	4,842,270	506	10,579	4,290,270	230	552,000

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
本所	55,622,090	3,708	43,859	46,290,890	3,888	9,331,200
北部研究所	4,842,270	506	10,579	4,290,270	230	552,000
合計	60,464,360	4,214	54,438	50,581,160	4,118	9,883,200

(利用総額:利用金額と指導金額の合計)

2.3.2 機器操作技術認定研修

試験研究機器を利用するに当たり、一定の操作技術が必要なものは研修を実施し、認定証を発行した。

研修日数・参加人数(本所)	154 日・265 人
研修日数・参加人数(北部)	13 日・18 人

2.4 技術普及業務

2.4.1 研究成果の技術移転

今までの研究成果を基に、企業への技術相談・指導を通じて技術移転に努めた。
平成 24 年度に行った技術移転の具体例のうち、主なものを以下に挙げる。

本所

- 32 連式 BOF/DWPR 温度センシングシステムについて
- 鋳物金型によるアルミニウムダイカスト法の開発について

北部研究所

- 吟醸酒用新酵母「埼玉G酵母」について
- 発酵塩麴漬物
- 県産小麦新規ブレンド粉
- 漬け物のパッケージデザインについて
- プリント布製品の商品開発について
- 苔退治スプレーボトルのラベルデザインについて
- チョコレートプレートの商品開発について
- 県産木材を用いた木工製品の開発について
- 共同受注商品の開発について
- 事業所の連携によるアソート商品のパッケージ開発について

2.4.2 SAITEC 研究発表会

平成 23 年度のセンターの研究成果及び様々な技術支援を紹介するとともに、国、大学等他機関からの研究や支援情報などの発表を加え、新たな技術や支援など幅広い情報提供を行った。

開催日：平成 24 年 10 月 4 日(木)

会場：埼玉県産業技術総合センター

来場者：146 名

内容：

(1) 研究成果発表 24 テーマ(他都県、大学等からの発表を含む)[内容は 3.4.1 項を参照]

(2) ポスター展示

- ① SAITEC 平成 23 年度研究成果 6
- SAITEC 支援事例 8
- 外部資金関係 SAITEC の研究 3
- TKF から研究成果 5
- 大学等から発表 6

② 貸研究室入居者紹介

(3) 講演

テーマ 「我社の海外展開」

講師 上板塑性株式会社 代表取締役社長 武山 睦子 氏

テーマ 「トヨタにおける少・省エネルギー改善活動」

講師 ものつくり大学 技能工芸学部 製造学科 教授 藤井宣仁 氏

(4) 中小企業向け支援情報の講演

テーマ 「広域首都圏輸出製品技術支援センターの開設について」

講師 (地独)東京都立産業技術研究センター 経営企画部経営企画室長 片桐正博 氏

テーマ 「経済産業省における中小企業向け施策等について」

講師 関東経済産業局 地域経済部 地域振興課 係長 佐野雅夫 氏

(5) 施設見学会

参加者 10名

見学場所 電波暗室、積層造形装置、精密測定機器、集束イオンビーム加工観察装置
X線マイクロアナライザ

2.4.3 SAITEC 研究発表会(熊谷会場)

埼玉県産業技術総合センター、群馬県立群馬産業技術センター及び新潟県工業技術総合研究所の研究テーマを発表するとともに埼玉県産業技術総合センター北部研究所の新規導入機器を紹介した。併せて、食品の安全性に関する技術講演会を開催した。

開催日: 平成24年10月16日(火)

会場: 埼玉県産業技術総合センター北部研究所

来場者: 82名

内容: SAITEC 研究発表、ポスター展示

(1) 研究成果発表 11テーマ(他県、県内他機関からの発表を含む)[内容は3.4.1項を参照]

(2) ポスター展示

① SAITEC 平成23年度研究成果

(3) 技術講演: テーマ「小麦・小麦粉の物理化学的性質に基づいた製粉工程の高効率化」

講師 工学院大学教授 山田昌治氏

2.5 次世代自動車支援事業の運営支援

次世代自動車に対し県内中小企業の新規参入や既存企業の技術転用を促進するため、(財)埼玉県産業振興公社が自動車産業部会を組織したが、その中の各研究会を公社が運営する際、各研究会等の開催に対し当センターが支援を行った。具体的には、各研究会に対し下記のとおり担当者を決めて活動した。

2.5.1 部会及び各研究会参加企業数

(1) 自動車産業部会

部会	参加企業数	時点
自動車産業部会	105社	H25.3.31

(2) 自動車産業部会内の各研究会

研究会	参加企業数	時点
モーター関連技術研究会	13社	H25.3.31
パワーエレクトロニクス研究会	14社	H25.3.31
軽量化研究会	14社	H25.3.31
現場力強化研究会	11社	H25.3.31
車両分解研究会	29社	H25.3.31

2.5.2 研究会等の名称及び担当者一覧表

研究会等		担当者	
窓 口		影山 和則、巻島 秀男	
技術開発領域	モーター関連技術研究会	荻野 重人、栗原 英紀、島崎 景正、岩崎 正太	
	パワーエレクトロニクス研究会	矢部 友哉、森田 寛之	
	軽量化研究会	小熊 広之	
製造技術領域	現場力強化研究会	門間 由洋、巻島 秀男	
車両分解研究会	10月まで	ボディ分科会	小熊 広之、原田 勝利
		シャシ分科会	井上 裕之、小口 正浩
		モータ分科会	島崎 景正、稲本 将史
		パワエレ分科会	矢部 友哉、森田 寛之
	一般電装分科会	本多 春樹、鈴木 浩之	
11月から	島崎 景正、内藤 理恵		

2.5.3 各研究会の概要

(1) モーター関連技術研究会

年月日	内 容	開 催 場 所	参加社数	参加人数
H24.7.4	第1回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	7	12
H24.10.4	第2回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	7	11
H24.12.11	第3回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	5	6
H25.3.6	第4回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	9	13

(2) パワーエレクトロニクス研究会

年月日	内 容	開 催 場 所	参加社数	参加人数
H24.4.17	第1回研究会	埼玉県産業技術総合センター	9	11
H24.7.12	第2回研究会	埼玉県産業技術総合センター	10	12
H24.11.29	第3回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	8	9
H25.3.6	第4回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	9	14

(3) 軽量化研究会

年月日	内 容	開 催 場 所	参加社数	参加人数
H24.4.12	第1回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	8	10
H24.8.3	第2回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	13	16
H24.12.5	第3回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	11	17

(4) 現場力強化研究会

年月日	内 容	開 催 場 所	参加社数	参加人数
H24.4.4	第4回研究会(23年度分)	(株)山本製作所	6	14
H24.7.27	第1回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	10	29
H24.9.28	第2回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	11	28
H24.12.19	第3回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	10	31
H25.2.14	第4回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	11	38

(5) 車両分解研究会

年月日	内 容	開 催 場 所	参加社数	参加人数
H24.4.25	第4回研究会(23年度分)	埼玉県産業技術総合センター	11	15
H24.6.20	第5回研究会(23年度分)	埼玉県産業技術総合センター	16	26
H24.7.17~8.24	日産リーフ分解部品一般公開	埼玉県産業技術総合センター	-	2,235
H24.10.16 ~10.17	トヨタアクア試乗体験会	埼玉自動車大学校	10	24
H24.11.6~11.7	トヨタアクア分解作業見学会	埼玉自動車大学校	29	119
H24.11.15	第1回研究会(発足式)	埼玉自動車大学校	26	46
H24.12.6~12.7	トヨタアクア分解部品一般公開	埼玉県産業技術総合センター	-	225
H25.3.13	第2回研究会(報告会)	新都心ビジネス交流プラザ	17	36

2.5.4 講演会・セミナー

年月日	演 題	講師(敬称略)	開 催 場 所	参加人数
H24.4.12	炭素繊維の将来と自動車用途展開について	三菱レイヨン(株) 秋山 浩一	新都心ビジネス交流プラザ	55
H24.4.17	パワーエレクトロニクスユニットの現状と動向	東京理科大学 星 伸一	埼玉県産業技術総合センター	38
H24.7.4	電動車両の市場動向とモーター周辺技術動向	(株)本田技術研究所 山本 恵一	新都心ビジネス交流プラザ	69
H24.7.12	パワーデバイス活用のための技術と開発実務について	(株)東芝 西谷 和展	埼玉県産業技術総合センター	60
H24.8.3	ダイカスト casting と実際運営	(株)アーレスティ 榊原 勝弥	新都心ビジネス交流プラザ	39
H24.11.15	ハイブリットカー(アクア)の開発について	トヨタ自動車(株) 柳原 雅彦	埼玉自動車大学校	110

年月日	演 題	講師(敬称略)	開 催 場 所	参加人数
H24.12.5	チタンの特性と応用分野	(社)日本チタン協会 伊藤 均	新都心ビジネス交流プラ ザ	34
H24.12.20	高性能EV試作車の開発	(株)SIM-Drive 清水 浩	慶應義塾大学	9
H25.3.19	大成プラスのあくなき挑戦	(株)日本チタン協会 伊藤 均	新都心ビジネス交流プラ ザ	50

2.6 技術講習会、講演会の開催

本 所(主催事業)

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
H24.4.4	第1回埼玉県鋳物技術委員会	川口鋳物工業協同組合	県内の鋳造技術振興に関する打合せ 鋳造技術コンクールに関する打合せ等	19
H24.4.4	第536回埼玉県鋳物技術講演会	川口鋳物工業協同組合	「中国の鋳物事情とこれからの日本の鋳物づくりのあり方」 NPO法人熟年ものづくり国際協力センター 理事長 田村 啓治 氏	21
H24.4.20	品質工学フォーラム 埼玉総会、定例会	埼玉県産業技術総合センター	総会、事例発表、事例相談	14
H24.5.9	平成24年度埼玉県鋳造技術コンクール説明会	川口鋳物工業協同組合	・ 実施概要・採点要領について 埼玉県産業技術総合センター 主任 菊池 和尚 ・ 課題の凝固解析事例について 埼玉県産業技術総合センター 主任研究員 永井 寛	30
H24.5.18	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	10
H24.6.6 ~6.8	第224回埼玉県鋳物技術講習会	川口鋳物工業協同組合	全体テーマ「技能検定のための鋳造技術の基礎知識」 Part I (社)日本鋳造協会 技術顧問 納谷 喜郎 氏 Part II ものづくり大学 特任教授 鈴木 克美 氏 Part III (株)永瀬留十郎工場 専務取締役 永瀬 勇 氏	94
H24.6.15	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	10
H24.7.11	第2回埼玉県鋳物技術委員会	川口鋳物工業協同組合	県内の鋳造技術振興に関する打合せ等	15
H24.7.11	第537回埼玉県鋳物技術講演会	川口鋳物工業協同組合	「高強度球状黒鉛鋳鉄の開発の経緯、その技術の特長と最新技術について」 青梅鋳造(株) 代表取締役 三吉 俊幸 氏	35
H24.7.20	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	11
H24.8.24	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	11

年月日	名称	会場	内容及び講師等	参加人数
H24.9.5 ～9.7	第225回埼玉県鋳物技術講習会	埼玉県産業技術総合センター	テーマ「鋳物のCAE解析のための三次元CAD入門」 ・「三次元CADを使った鋳物づくりの実際」 島田木型製作所 代表 島田 勝征 氏 ・「三次元CAD(SolidWorks)を利用した鋳造方案作成1」 (株)ケイジー・ラボラトリーズ 代表取締役 國岡 保弘 氏 ・「三次元CAD(SolidWorks)を利用した鋳造方案作成2」 (株)ケイジー・ラボラトリーズ 代表取締役 國岡 保弘 氏	30
H24.9.21	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	8
H24.10.4	SAITEC研究発表会	埼玉県産業技術総合センター	平成23年度SAITECの研究発表、研究成果ポスター等展示 講演会、施設見学会	146
H24.10.10	第3回埼玉県鋳物技術委員会	川口鋳物工業協同組合	県内の鋳造技術振興に関する打合せ等	16
H24.10.10	第538回埼玉県鋳物技術講演会	川口鋳物工業協同組合	「鉄系鋳物技術者から見た非鉄鋳物の動向」 新東工業(株) 顧問 竹内 純一 氏	35
H24.10.19	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	9
H24.11.16	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	3
H24.11.19	第48回埼玉県鋳造技術コンクール表彰式及び講評会	埼玉県産業技術総合センター	講評会講師 鋳物技術委員 足立 亘 氏 表彰式 埼玉県産業技術総合センター センター長 牟田口 照恭、他	50
H24.11.28 12.5 12.19	第226回埼玉県鋳物技術講習会	川口鋳物工業協同組合	テーマ「最新鋳型技術と低エネルギー化の動向」 ・「無機バインダーのサステナビリティについて」 ASKケミカルズジャパン(株) 間瀬 和行 氏 ・「アルカリフェノールプロセスの最新状況 ～鋳物砂の動向について～」 群栄化学工業(株) 渡辺 一郎 氏 ・「最新の有機バインダーの開発動向と人工砂再生技術」 花王クエーカー(株) 加藤 雅之 氏	59
H24.12.21	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	9
H25.1.18	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	4
H25.1.30	第55回埼玉県めっき技術競技会表彰式	TOIRO	講評 東京都市大学 名誉教授 星野 重夫 氏	35
H25.2.13	第4回埼玉県鋳物技術委員会	川口鋳物工業協同組合	県内の鋳造技術振興に関する打合せ 鋳造技術コンクールに関する打合せ等	14

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
H25.2.13	第539回埼玉県鋳物技術講演会	川口鋳物工業協同組合	「金属溶解用電気炉とその溶解方法及びそれに使用する耐火物について」 日本セラミックス(株) 代表取締役 定光 寛明 氏	23
H25.2.15	品質工学フォーラム埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	6
H25.3.6 3.13 3.27	第227回埼玉県鋳物技術講習会	川口鋳物工業協同組合	全体テーマ「低温衝撃特性に優れた球状黒鉛鋳鉄品の製造技術について」 ・「乗用車用球状黒鉛鋳鉄の製造技術について」 日立金属(株) 素材研究所 主任研究員 川畑 将秀 氏 ・「鋳物の重要性と衝撃破壊特性及び(株)エクセディ鋳造における風力発電用鋳物事例」及び「消失模型鋳造法の我が国とアジア諸外国における最新の動向と事例」 元大阪府立大学 池永 明 氏 ・「球状黒鉛鋳鉄の作り方」 (株)木村鋳造所 取締役開発部長 菅野 利猛 氏	88
H25.3.14	第6回ものづくり講演会	埼玉県産業技術総合センター	「製造現場のヒューマンエラーとその対策」 (株)エフテックス 北澤 幸廣 氏 他 会員等からの発表3件	29
H25.3.15	品質工学フォーラム埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	6

本 所(支援事業)

年月日	名 称	会 場	支 援 内 容 等	参加人数
H24.5.22	埼玉県ものづくり研究会総会・講演会	大宮ソニックシティ	通常総会、講演会 「今、世界で何が起きているかー日本のものづくりの神話再考ー」 東京大学大学院経済学研究科 ものづくり経営研究センター 特任研究員 吉川 良三 氏	29
H24.5.25	埼玉県熱処理技術研究会総会及び記念講演会	埼玉県産業技術総合センター	「航空機部品の熱処理について」 住友精密工業(株) 取締役 八木 良蔵 氏	44
H23.6.15 6.22 6.29 7.6	熱処理技術講習会	川越高等技術専門学校	熱処理の社員教育 熱処理技術研究会役員、他	のべ51

年月日	名 称	会 場	支 援 内 容 等	参加人数
H24.6.29 ～6.30	第10回鋳鉄品の超音波試験技術者養成講習会	埼玉県産業技術総合センター	<ul style="list-style-type: none"> ・「非破壊検査総論」 埼玉大学大学院 加藤 寛 氏 ・「鋳鉄品の強度評価」 北海道大学名誉教授 野口 徹 氏 ・「鋳鉄の超音波試験Ⅰ・Ⅱ」 (有)日下レアメタル研究所 取締役 鹿毛 秀彦 氏 ・「超音波試験の基礎」 (一社)日本非破壊検査工業会 後河内 薫 氏 ・「実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」 (一社)日本非破壊検査工業会 森 繁樹 氏 (地独)東京都立産業技術研究センター 渡部 友太郎 氏 埼玉県産業技術総合センター 永井 寛、他 	52
H24.7.13	埼玉県ものづくり研究会 微細加工セミナー	埼玉県産業技術総合センター	<p>「微細加工機の導入メリットと微細加工例の紹介」 碌々産業(株) 須山 英司 氏</p> <p>「小径工具の切削技術・加工事例の紹介」 日進工具(株) 永沼 氏</p>	34
H24.7.19	埼玉県ものづくり研究会 三次元デジタル説明会	埼玉県産業技術総合センター	三次元デジタル説明会 東京貿易テクノシステム(株)	15
H24.8.7	埼玉県ものづくり研究会 品質工学入門セミナー	埼玉県産業技術総合センター	「品質工学とは何か？－企業に利益を！ 技術者に感動を！」 土居 雅幸 氏	27
H24.10.23	実践型熱処理技術講習会	埼玉県産業技術総合センター	<p>『窒素による鋼の表面硬化技術』 (株)日本テクノ 技術部 中岡 真悟氏</p> <p>『プラズマ窒化とコーティング処理について』 日本電子工業(株) 次長 近藤 恭二氏</p> <p>『窒化ポテンシャル制御を可能としたガス軟窒化炉』 オリエンタルエンジニアリング(株) 研究開発部 木立 徹氏</p> <p>『そうじの力で会社がよみがえる』 (株)そうじの力 代表取締役 小早 祥一郎氏</p>	43
H24.10.30 ～11.1	湯流れ凝固シミュレーション研修	埼玉県産業技術総合センター	<p>講師：茨城日立情報サービス(株) 瀬ヶ沼 茂行 氏</p> <p>内容：湯流れ、凝固過程をシミュレーションし、三次元で視覚的に評価する方法や欠陥予測により、試作回数低減、開発期間短縮、品質向上によるコスト低減方法など</p>	11

年月日	名称	会場	支援内容等	参加人数
H24.11.21	第11回鋳鉄品の超音波試験技術者養成講習会	埼玉県産業技術総合センター	<ul style="list-style-type: none"> ・「非破壊検査総論」 (一社)日本非破壊検査工業会 後河内 薫 氏 ・「鋳鉄品の強度評価」 旭川工業高等専門学校 准教授 堀川 紀孝 氏 ・「鋳鉄の超音波試験Ⅰ・Ⅱ」 (有)日下レアメタル研究所 取締役 鹿毛 秀彦 氏 ・「超音波試験の基礎」 (一社)日本非破壊検査工業会 後河内 薫 氏 ・「実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」 (一社)日本非破壊検査工業会 森 繁樹 氏 (地独)東京都立産業技術研究センター 渡部 友太郎 氏 埼玉県産業技術総合センター 永井 寛 	32
H25.1.28 ～2.1	鋳造カレッジ・インターンシップ	埼玉県産業技術総合センター	<p>1/28</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「CE値と冷却曲線及び凝固」 早稲田大学名誉教授 中江 秀雄 氏 ・「溶解実験概要及び溶解材料配合計算法」 埼玉県産業技術総合センター 永井 寛 ・「炉前試験及び組織観察法」 (公社)日本鋳造工学会 野口 昌彦 氏 ・「造型実習」 埼玉県産業技術総合センター 笹川 俊夫、他 <p>1/29</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「化学成分分析法の原理」 埼玉県産業技術総合センター 鈴木 昌資 ・「溶解実習」 埼玉県産業技術総合センター 永井 寛、他 	156

年月日	名 称	会 場	支 援 内 容 等	参加人数
H25.1.28 ～2.1	鑄造カレッジ・インター ンシップ(続き)	埼玉県産業技術 総合センター	<p>1/30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「非破壊検査概論」 (有)日下レアメタル研究所 鹿毛 秀彦 氏 ・「超音波探傷試験法」 日本ITeS(株) 坂代 一郎 氏 ・「磁粉探傷試験法」 電子磁気工業(株) 日野 純男 氏 大矢 和彦 氏 ・「浸透探傷試験法」及び「X線透 過試験法及びX線CT法」 埼玉県産業技術総合センター 永井 寛 菊池 和尚 ・「超音波試験実習」 鹿毛 秀彦 氏 坂代 一郎 氏 (地独)東京都立産産業技術研 究センター 渡部 友太郎 氏 埼玉県産業技術総合センター 永井 寛 <p>1/31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「材料試験実習」 埼玉県産業技術総合センター 澁谷 康彦、他 ・「顕微鏡組織観察実習」 早稲田大学材料技術研究所 安井 純一 氏 (公社)日本鑄造工学会 野口 昌彦 氏 川口鑄物工業協同組合 五十嵐 芳夫 氏 吉田 幸弘 氏 増田 多孝 氏 伊藤鉄工(株) 来栖 直樹 氏 埼玉県産業技術総合センター 永野 正明、他 <p>2/1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鑄造品の不良解析事例」 埼玉県産業技術総合センター 井上 裕之 ・「まとめと発表」 (社)日本鑄造協会 北澤 幸廣 氏 富澤 達 氏 石原 安興 氏 埼玉県産業技術総合センター 永井 寛 	156

年月日	名称	会場	支援内容等	参加人数
H25.2.22	埼玉県ものづくり研究会 工場見学会	(株)埼玉富士、北陸軽金属工業(株)	工場見学	17
H25.3.8	熱処理発表会	埼玉県産業技術総合センター	「めっきと熱処理の複合技術(ハードコンポ)」 (株)ヨシノハード 営業部係長 金子 浩章 氏 「クレーム費削減」 (株)ヤマザキ電機 品証課課長 矢口 和男 氏 「金属材料組織観察における最適な研磨材、方法」 三共理化学(株) SDソリューション開発販売部 網中 秀沙 氏 「A社ショット作業の改善」 (株)オーネックス 生産課 清水 好直 氏 「非破壊検査技術とは」 電子磁気工業(株) 開発部開発課 井家 奈津子 氏	51

北部研究所(主催事業)

年月日	名称	会場	内容及び講師等	参加人数
H24.4.18	米菓研究会理事会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	昨年度の事業報告、今年度の事業計画 および総会の開催と講演会について	8
H24.6.26	市販清酒研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	「きさ酒について」 関東信越国税局 本村 創 氏 池永 敏彦 氏 彩の国酒造り学校校長 大橋 勝 氏 学識経験者 山田 和男 氏	46
H24.9.11	清酒研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	「清酒審査講評」 関東信越国税局 須藤 茂俊 氏 能勢 雅樹 氏 学識経験者 大橋 勝 氏 山田 和男 氏	28
H24.10.16	SAITEC北部研究所 研究発表会 (熊谷会場)	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	講演会「小麦・小麦粉の物理化学的性質に基づいた製粉工程の高効率化」 工学院大学教授 山田 昌治氏	72
H24.11.1	米菓研究会平成24年度秋の勉強会	埼玉県産業技術総合センター	「ソフトスチーム加工 -科学的視点からの食品加工-」 埼玉県産業技術総合センター 担当部長 関根 正裕	16
H24.11.6	第8回埼玉北部地域技術交流会	ものづくり大学	「低エネルギー社会におけるものづくり～今後エネルギーは、そして産業は～」 ものづくり大学 学長 神本 武征 氏	150

年月日	名称	会場	内容及び講師等	参加人数
H24.12.18	吟醸酒研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	パネルディスカッション 「吟醸酒造りの要点」 進行 杜氏会会長 多田 一郎氏 「埼玉県内各社の平成23酒造年度 全国新酒鑑評会出品調査票及び審査 結果より」 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 主任研究員 横堀 正敏	18
H25.3.6	食品セミナー	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「小麦粉の性質に基づいたパンと麺の科 学」 工学院大学教授 山田 昌治 氏	68
H25.3.13	杜氏酒造研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「吟醸酒の管理と出品について」 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 主任研究員 横堀 正敏	20
H25.3.26	新酒研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「出品酒の成分と品質について」 関東信越国税局 松本 健 氏 学識経験者 大橋 勝 氏 山田 和男 氏 埼玉県産業技術総合センター 担当部長 増田 こずえ 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 主任研究員 横堀 正敏 技師 南澤 賢	22

注) 米菓研究会、市販清酒研究会、清酒研究会、吟醸酒研究会、杜氏研究会、新酒研究会については、5.2 新技術
情報交流支援(研究会・交流会の開催)に再掲。

2.7 培養酵母の頒布

種 別	本 数	金 額(円)
酒類用酵母	1,284 本	642,000
醤油用酵母	8 本	12,000
合計	1,292 本	654,000

3 研究開発

埼玉県産業技術総合センターでは、県内産業の技術力強化を図るため、社会的ニーズや新技術・新製品の開発や生産システム等の課題に対応した研究開発や企業からの依頼による受託研究等を実施し、研究成果の発表や技術相談・指導等を通じて研究成果の技術移転を行った。

また、研究の計画及び終了段階における外部評価委員による研究評価、外部専門家の客員研究員による研究指導等、研究の効果的・効率的推進に努めた。

3.1 研究開発

3.1.1 政策的研究課題

(1) 政策的研究開発事業(産業支援研究)

本所

- ステンレス鋼の六価クロムフリー電解研磨技術の開発
- 高アスペクト比(深さL/直径Dの比)微細深穴加工技術に関する研究
- ピエゾ素子を用いた高推力リニアモータの開発
- マグネシウム二次電池の実用化可能性検証に係る研究
- リサイクル性、補修性を有する軽量高強度複合材料に関する研究

北部研究所

- 高齢化社会に向けた機能性食品の開発－新規減塩漬物の製造技術の開発－
- 安心・安全な県産食材の利用の高度化技術の開発－県産小麦の新規ブレンド粉の開発－
- 安全・安心な食品製造工程の管理技術の確立－食中毒菌の迅速検出技術の開発－

(2) 新技術開発推進事業(独創的技術形成研究、技術支援高度化研究)

本所

- BEMS/HEMS 技術の開発
- 精密測定機同士の連携に関する研究
- 固相マイクロ抽出法を用いたメッキ液中サッカリン濃度評価

北部研究所

- 高温もろみ対応清酒酵母の開発
- 県産ねぎを使った新規加工食品の開発
- 発酵による食品副産物の有効利用
- 試験装置等監視システムの構築
- 微量血液検査機器における検査方法の評価

(3) 競争的資金による研究開発等

①受託研究

[戦略的基盤技術高度化支援事業 関東経済産業局]

- 超小型内視鏡部品製造のための知的ポスト処理システムによる高精度切削加工技術の開発
- 発酵食品製造における微生物汚染防止のための品質管理システムの開発
- 硬質六価クロムめっきに代わる微粒子分散複合めっき技術の開発
- 金属粉末成形用の金型潤滑油と塗布システムの開発

[イノベーションシステム整備事業(地域イノベーションクラスタープログラム(都市エリア型)) 文部科学省]

- 高速分子進化技術を核とするバイオ・ものづくりクラスターの形成

[研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) (独)科学技術振興機構(JST)]

- 開創部の骨形状を術中、光学的に3次元計測し人工関節の個別最適化を実現する手術支援システムの研究開発

- 1時間以内で個別最適化した手術を完了できる人工関節手術ナビゲーションシステムの臨床用試作の開発

[新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業 農林水産省]

- 高アミロース米のダイレクト糊化による低コスト高付加価値食品の開発

②その他の支援

[第88回(平成23年度第2次)新技術開発助成(財)新技術開発財団]

○流体集束プロペラによるマイクロ水力発電システムの開発

[平成24年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(独)日本学術振興会]

○難削材への微細深穴加工のための三次元低周波加振技術の開発

[平成22年度先端技術実証・評価設備整備費等補助金(企業等の実証・評価設備等の整備事業)みずほ情報総研(株)(経済産業省)]

○新鋳造法を用いた次世代型X線CT用のアルミ複合材鋳物部品の実証試作・評価

[戦略的基盤技術高度化支援事業 関東経済産業局]

○世界初の中間酸化膜による新型NDフィルター及び一体型NDIRカットフィルターの開発

[平成24年度緑と水の環境技術革命プロジェクト事業(事業化可能性調査) 農林水産省]

○ソフトスチームライス事業

[研究成果最適展開支援事業(A-STEP)(独)科学技術振興機構(JST)]

○バイオハザード迅速検出システム

[平成24年度地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト 中小企業庁]

○川口『竹(たけ)・技(わざ)』魅力創出プロジェクト

[新事業活動促進支援補助金新連携支援事業 中小企業庁]

○車椅子における座位姿勢計測装置の事業化

[大学内競争的資金 Hartford 大学(アメリカ)]

○Refining Descriptions of Anatomical Landmarks for Seated Posture Measurement

(4) その他

[地域産業活性化支援事業(招へい型)(独)産業技術総合研究所]

○使用済み無電解ニッケルめっき液からのニッケル溶媒抽出系の最適化

3.1.2 受託研究

(1) 企業からの受託研究

	件数	金額(円)
本所	23	6,313,100
北部研究所	9	1,291,700
計	32	7,604,800

(2) 外部競争的資金による受託研究

	件数	契約額(円)
本所	5	2,199,450
北部研究所	1	200,000
本所・北部	2	9,899,300
計	8	12,298,750

3.2 研究開発の実用化・商品化

- (1) 小水力発電の試作品
- (2) 渦流式籾殻燃焼ハウス暖房機
- (3) 春日部桐箱の野菜保存箱
- (4) 高分解能高推力リニアモータの試作品
- (5) アルミ合金にSiCセラミック粒子を添加した高機能鋳物
- (6) レアアースを使用しないLED照明モジュール
- (7) チョコレートオーナメントのデザイン
- (8) 県産木材を用いた木工製品のデザイン
- (9) 板材を用いた商品ディスプレイ
- (10) 緊急簡易トイレ
- (11) ドア閉め忘れ警報ブザーの開発
- (12) ノートパソコン過熱防止マット
- (13) 厚手鋳物鍋
- (14) 漬物ギフトパッケージデザイン
- (15) オリジナルプリント製品の商品開発
- (16) 県産小麦ブレンド麺の開発

3.3 客員研究員

外部の専門家・有識者を当所の客員研究員として依頼し、当所が進める各分野の研究に対して助言指導を受けた。

客員研究員		指導分野	指導日数
松田技術経営研究所	松田 信一 氏	生産関連	1
埼玉大学	堀尾健一郎 氏	生産関連	2
元(独)産業技術総合研究所	近森 邦夫 氏	生産関連	3
東京大学	空閑 重則 氏	バイオ関連	2
工学院大学	山田 昌治 氏	バイオ関連	3
東京農業大学	野口 智弘 氏	バイオ関連	2
6 名		2 分 野	13

3.4 研究成果の公表

3.4.1 センター主催の発表

本所

SAITEC 研究発表会（掲載論文『埼玉県産業技術総合センター研究報告第 10 巻』）

年月日	研究題目	発表者名
H24.10.4	Mg 二次電池正極材料の開発	戦略プロジェクト推進担当 稲本 将史
	高アスペクト比微細深穴加工に関する研究	機械技術担当 南部 洋平
	ベクトルネットワークアナライザを用いたマイクロ波帯域測定における誤差要因低減に関する調査	電気・電子技術担当 内藤 丈資
	鋳鉄金型によるアルミニウムダイカスト法の開発	材料技術担当 永野 正明
	ピエゾ素子を利用した高推力リアモータの開発	電気・電子技術担当 荻野 重人
	アルミ基複合材鋳物のハイブリッド砂型低圧鋳造法の開発	材料技術担当 永井 寛
	レーザ結晶の高効率超精密研磨に関する研究	機械技術担当 落合 一裕
	ステンレス鋼の六価クロムフリー電解研磨技術の開発	機械技術担当 出口 貴久
	超臨界流体を用いた精密成形に関する研究	機械技術担当 山田 岳大

北部研究所

SAITEC 研究発表会（熊谷会場）（掲載論文『埼玉県産業技術総合センター研究報告第 10 巻』）

年月日	研究題目	発表者名
H24.10.16	栗渋皮を利用した新規機能性製品の開発	食品・バイオ技術担当 樋口 誠一
	県産小麦の新規ブレンド粉の開発	食品・バイオ技術担当 海野 まりえ
	米粉を用いた新規製麺技術の開発	食品・バイオ技術担当 常見 崇史
	遺伝子検出による迅速微生物解析技術の開発	食品・バイオ技術担当 富永 達矢
	天然精油を用いたマイクロ・ナノカプセルの製造方法の開発	食品・バイオ技術担当 細井 永次
	油菓子保存試験の促進評価方法の確立	食品・バイオ技術担当 成澤 朋之
	高温もろみ対応清酒酵母の開発	食品・バイオ技術担当 横堀 正敏

3.4.2 学会等への発表(国際会議含む)

本所

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H24.4.19 ～4.20	エビデンスに基づくリハビリテーション～座位姿勢計測～	半田 隆志	バリアフリー展2012	
H24.5.23	Visualization Analysis of Foam Structure Development Process along Weld-line Zone behind Obstacle Pin	Takehiro Yamada	Polymer processing society	
H24.6.5	Electrode Performance of Vanadium Pentoxide Xerogel Prepared by Microwave Irradiation as an Active Cathode Material for Rechargeable Magnesium Batteries	稲本 将史 栗原 英紀		Electrochemistry, Vol.80, No.6
H24.6.9	埼玉県産業技術総合センターにおける福祉機器の研究開発事例	半田 隆志	日本人間工学会第 53 回大会	日本人間工学会第 53 回大会講演集
H24.6.12	微細発泡射出成形における障害ピン後方ウエルドラインの発泡構造形成可視化解析	山田 岳大	第23回プラスチック成形加工学会年次大会	
H24.6.14	ピエゾ素子用高剛性変位拡大機構の開発	荻野 重人	平成24年度(地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会	平成24年度(地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会要旨集
H24.6.15	高アスペクト比微細深穴加工に関する研究	南部 洋平	平成24年度(地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会	平成24年度(地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会要旨集
H24.6.30	誘電セラミックス複合材を接着層とするポリプロピレンの高周波溶融接合	佐野 勝 小熊 広之 関根 正裕	2012年度(第50回)日本接着学会年次大会	
H24.7	Visualization Analysis of a Multilayer Foam Development Process in Microcellular Injection Molding	Takehiro Yamada		International Polymer Processing, 3, pp299-309 (2012)
H24.8.24	特別養護老人ホームにおける傾斜角度計測器の臨床応用	半田 隆志 (古賀 洋、木之瀬 隆、井筒隆文、佐野 公治)	第27回リハ工学カンファレンス	第 27 回リハ工学カンファレンス講演論文集
H24.8.24	病院における座位適合時の傾斜角度計測器を用いた簡易計測の試み	半田 隆志 (古賀 洋、木之瀬 隆、井筒隆文、佐野 公治)	第27回リハ工学カンファレンス	第 27 回リハ工学カンファレンス講演論文集
H24.9.14	高アスペクト比微細深穴加工技術に関する研究	南部 洋平	2012年度精密工学会秋季大会	2012 精密工学会秋季大会講演論文集
H24.9.14	ピエゾ素子用高剛性変位拡大機構の開発	荻野 重人	2012年度精密工学会秋季大会学術講演会	
H24.11	Development of Seated Posture Measurement Tools and Prosthetic Hand Made of Paper	Takashi Handa	2012 Technical Conference on Rehabilitation Engineering and Assistive Technology Society of Korea	Proceedings of 2012 Technical Conference on Rehabilitation Engineering and Assistive Technology Society of Korea

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H24.11.7	マグネシウム二次電池正極材料の開発	稲本 将史 栗原 英紀	平成24年度 神奈川県産業技術 センターものづくり技術 交流会	平成24年度 神奈川県産業技術 センターものづくり技術 交流会要旨集
H24.11.7	高アスペクト比微細深穴加工に関する研究	南部 洋平	平成24年度 神奈川県産業技術 センターものづくり技術 交流会	平成24年度 神奈川県産業技術 センターものづくり技術 交流会要旨集
H24.11.7	Mg蓄電池用正極活物質の開発	稲本 将史	平成24年度 神奈川県産業技術 センターものづくり技術 交流会	平成24年度 神奈川県産業技術 センターものづくり技術 交流会要旨集
H24.11.9	毒劇物を用いないステンレス鋼の電解研磨	出口 貴久	平成24年度 神奈川県産業技術 センターものづくり技術 交流会	平成24年度 神奈川県産業技術 センターものづくり技術 交流会要旨集
H24.11.27	減圧凍結法を用いた造型法による環境低負荷型鑄造システムの開発	永井 寛	産技連 ナノテク・材料 部会 素形材分科会 第53回全国公設試験 研究機関素形材技術 担当者会議	
H24.11.30	連続炭素繊維強化熱可塑性樹脂複合材料の力学特性向上	小熊 広之	プラスチック成形加工学 会 第20回秋季大会	
H24.12.1	微細発泡射出成形における段差部の内部発泡構造の観察	山田 岳大	プラスチック成形加工学 会 第20回秋季大会	
H25.3.7	連続繊維強化熱可塑性樹脂複合材料の表面改質による力学特性向上	小熊 広之	第4回 日本複合材料 合同会議	

北部研究所

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H24.5.22	清酒酵母の開発	横堀 正敏	第8回イオンビーム育 種研究会	要旨集
H24.7.25	遺伝子検出による迅速微生物解析技術の開発	富永 達矢	千葉県産業支援技術 研究所発表会	要旨集
H24.7.25	県産小麦の新規ブレンド粉の開発	成澤 朋之	千葉県産業支援技術 研究所発表会	要旨集
H24.8.30	埼玉県産小麦の活用に向けて	小島 登貴子	日本食品科学工学会・第 59回大会 研究小集会	要旨集
H24.8.30	栗渋皮のロースト処理による風味強化とポリフェノール成分への影響	樋口 誠一	日本食品科学工学会・ 第59回大会	要旨集
H24.10.31	Ion beam technology used to create sake yeasts	横堀 正敏		RIKEN Accelerator Progress Report vol.45
H24.11.1	植物繊維を用いた米粉麺製造技術の開発	常見 崇史	全国食品技術研究会	
H24.11.1	県産小麦の新規ブレンド粉の開発	成澤 朋之	全国食品技術研究会	要旨集
H25.2.21	遺伝子検出による迅速微生物解析技術の開発	富永 達矢	平成24年度優良研究・ 指導業績表彰発表会	

3.5 研究課題の評価

3.5.1 事前評価

平成 25 年度の研究計画課題について、課題選定や予算策定の基礎資料とするため、内部委員による内部評価を行った上で、外部専門家を含めた研究評価委員会を開催し、事前評価を行った。

○ 研究評価委員会

外部委員

(平成 25 年 2 月 28 日開催)

東洋パーツ(株)

東京電機大学

(独)産業技術総合研究所

埼玉大学

(財)埼玉県産業振興公社

会長

教授

イノベーションコーディネータ

教授

知的財産アドバイザー

小 菅 一 憲 氏

檜 村 幸 辰 氏

山 中 忠 衛 氏

松 本 幸 次 氏

野 口 満 氏

3.5.2 事後評価

平成 23 年度の研究結果について、今後の新しい研究や研究成果の普及についての参考とし、さらに効率的研究の推進を図るため、外部委員や内部委員による事後評価を行った。

○ 研究評価委員会

外部委員

(平成 24 年 5 月 28 日開催)

東洋パーツ(株)

東京電機大学

(独)産業技術総合研究所

埼玉大学

(財)埼玉県産業振興公社

会長

教授

イノベーションコーディネータ

教授

知的財産アドバイザー

小 菅 一 憲 氏

檜 村 幸 辰 氏

山 中 忠 衛 氏

松 本 幸 次 氏

野 口 満 氏

3.5.3 中間評価

研究の進捗状況を把握し、その進行を適切に管理するために中間ヒヤリングを以下のとおり実施した。
産業支援研究・新技術創出調査研究 平成 24 年 10 月 9、10 日

4 研究開発支援

中小企業の研究開発支援及び産学官連携を推進するため、技術相談や共同研究による企業の支援を行った。また、研究発表会を開催し、SAITEC の研究成果を紹介した。さらに、特許の取得推進とその利用に努めた。

4.1 産学官連携の推進

4.1.1 産学官連携推進について

SAITEC における研究開発について、県内企業等と共同研究を行うなどして連携の推進を図った。外部競争的資金については、次の「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」を除くと、連携により 25 テーマ応募し、10 件の採択を得た。なお、平成 24 年度補正予算「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」については、平成 24 年度から平成 25 年度にかけて公募が 2 回に分けて行われ、第一次公募では合計 68 件の応募で、39 件の採択を得た。

また、SAITEC 研究発表会の開催や、産業交流展など他機関主催の展示会へも積極的に参加し研究等の説明を行った。

さらに、産学連携支援センター埼玉が主催する産学連携ネットワーク会議に参加し、県内工科系大学及び県内金融機関等と産学官連携の情報交換、連携推進を行った。

4.1.2 産学官連携関連展示会(主催事業)

(1) SAITEC 研究発表会(再掲)

SAITEC の研究成果の展示・発表及び、国・大学等の研究や支援に関する情報提供などを県内企業等に向けて行った。

開催日：平成 24 年 10 月 4 日(木)

会場：埼玉県産業技術総合センター

来場者：146 名

内容：・SAITEC 及び大学、他県公設試験研究機関の研究発表、ポスター展示、施設見学会
・講演

テーマ 「我社の海外展開」

講師 上板塑性株式会社 代表取締役社長 武山 睦子 氏

テーマ 「トヨタにおける少・省エネルギー改善活動」

講師 ものつくり大学 技能工芸学部 製造学科 教授 藤井宣仁 氏

・中小企業向け支援情報の講演

テーマ 「広域首都圏輸出製品技術支援センターの開設について」

講師 (地独)東京都立産業技術研究センター 経営企画部経営企画室長 片桐正博 氏

テーマ 「経済産業省における中小企業向け施策等について」

講師 関東経済産業局 地域経済部 地域振興課 係長 佐野雅夫 氏

(2) SAITEC 研究発表会(熊谷会場)(再掲)

埼玉県産業技術総合センター、群馬県立群馬産業技術センター及び新潟県工業技術総合研究所の研究テーマを発表するとともに埼玉県産業技術総合センター北部研究所の新規導入機器を紹介した。併せて、食品の安全性に関する技術講演会を開催した。

開催日：平成 24 年 10 月 16 日(火)

会場：埼玉県産業技術総合センター北部研究所

来場者：82 名

内容：SAITEC 研究発表、ポスター展示

(1) 研究成果発表 11 テーマ (他県、県内他機関からの発表を含む)

(2) ポスター展示

① SAITEC 平成 23 年度研究成果

(3) 技術講演：テーマ「小麦・小麦粉の物理化学的性質に基づいた製粉工程の高効率化」

講師 工学院大学教授 山田昌治氏

(3) 埼玉北部地域技術交流会

68 企業、7 大学、4 金融機関、14 支援機関からの製品紹介、事業紹介、研究成果の展示及び技術相談会等を開催した。

開催日：平成 24 年 11 月 6 日(火)

会場：ものづくり大学

技術講演：テーマ「自動車産業の現在と未来」

講師 株式会社本田技術研究所 四輪R&Dセンター 主任研究員 澁川岳郎 氏

出展：90 企業・団体

参加者：781 名

4.1.3 産学官連携に関連する展示会

平成 24 年度は、主催の展示会のみならず、外部機関からの出展依頼のあったものについても積極的に出展した。平成 24 年度の出展実績は以下のとおりである。

年月日	展示会の名称	開催場所	参加人数
H24.5.11	戸田市産業推進交流会	戸田市商工会	100
H24.10.4	SAITEC 研究発表会	埼玉県産業技術総合センター	146
H24.10.16	SAITEC 北部研究所研究発表会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	82
H24.11.9	埼玉北部地域技術交流会	ものづくり大学	781
H24.11.20 ～11.22	産業交流展 2012	東京国際展示場	436
H25.1.30～1.31	産学連携フェア	さいたまスーパーアリーナ	213
H25.2.6	農商工連携フェア	さいたまスーパーアリーナ	89

4.1.4 SAITEC 内特別チーム

(1) 目的

SAITEC のミッションである「県内企業の振興と発展」の具現化に向けて、状況判断により、組織の枠組みを越えて横断的に運営する。

改廃は状況判断により随時行い、定期的(半年を目途)にそのミッション、メンバーを見直すものとする。承認、発効はセンター長による。

注:proj活動となるが、組織名:戦略プロジェクト推進と混同されるため、特別チームと呼ぶ。(○はGリーダーを指す)

(2) SAITEC 内 特別チーム

特別チーム名	発足年月	メンバー	目的	終了年月
節電・省エネ	H23.5	○名倉 寿夫 内藤 丈資 能戸 崇行 鈴木 浩之 森田 寛之 本多 春樹 田中 智大 岩崎 正太 落合 一裕 宮原 進 関根 俊彰 増田 伸二	大震災復興支援のひとつ。 エネルギー不足に対応するため、 節電・省エネ対策の診断及び相談 を実施する。	
BEMS/HEMS 注:対外的に Projと呼ぶ場 合あり	H23.1	○岩崎 正太 森田 寛之 半田 隆志	個別技術相談に対応できる職員 を育成する。	

特別チーム名	発足年月	メンバー	目的	終了年月
材料* 注:対外的に Projと呼ぶ場 合あり	H24.1	○原田 勝利	今後、産業界が必要となる新材料の 情報収集と知見の深化。併せて REACH規制対応の情報収集を する。	
ソフトウェア	H24.12	○鈴木 浩之 本多 春樹 宮原 進 関根 俊彰	市場規模と参入障壁を考慮して、 製品の高付加価値化を支援する。 最新動向をとらえ知見を深化す る。	

4.2 助成制度への取り組み

埼玉県産業技術総合センターでは、県内中小企業の技術的支援機関として、国の重要施策である新規産業創造の実現に向けた「研究・技術開発に対する助成制度」を積極的に活用するための取り組みを行っている。

4.2.1 研究開発型企業支援事業

県内中小企業に対し、国等が実施する助成制度への応募に向けて、大学、(独)産業技術総合研究所、(独)理化学研究所、(財)埼玉県産業振興公社等との連携の基に支援を行った。

結果、外部競争的資金では次の「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」を除くと、平成 24 年度は 25 件の応募で 10 件の採択を得ることができた(再掲)。他に県の補助金についても 5 件の採択があった。なお平成 24 年度補正予算「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」については、平成 24 年度から平成 25 年度にかけて公募が2回に分けて行われ、第一次公募では合計 68 件の応募で、39 件の採択を得た(再掲)。

4.2.2 埼玉県産業技術総合センターが参加する産学官共同研究実施実績

施策名(実施機関)	プロジェクト名	共同研究体制
平成 24 年度 イノベーションシステム整備事業地域 イノベーションクラスタープログラム (都市エリア型)【埼玉・圏央エリア】 (文部科学省)	高分子進化技術を核とするバイオ・もの づくりクラスターの形成	ジェナシス(株) (株)ライフテック アスピオファーマ(株) (株)エヌビー健康研究所 (株)ビー・エム・エル シスメックス(株) (株)カイオム・バイオサイエンス (株)トミーデジタルバイオロジー (株)イムノ・プローブ (株)ニコインステック (株)オプトクエスト (株)埼玉三技協 (株)ホークビジョン SANSHO(株) 埼玉大学 東京大学 お茶の水女子大学 埼玉医科大学 新潟大学 九州大学 豊橋技術科学大学 (独)理化学研究所 埼玉県立がんセンター
平成 24 年度 戦略的基盤技術高度化支援事業 (関東経済産業局)	超小型内視鏡部品製造のための知的ポ スト処理システムによる高精度切削加工 技術の開発 発酵食品製造における微生物汚染防止 のための品質管理システムの開発	(株)金子製作所 埼玉大学 コージンバイオ(株) (有)エスカル アース環境サービス(株)

施策名(実施機関)	プロジェクト名	共同研究体制
平成 24 年度 戦略的基盤技術高度化支援事業 (関東経済産業局)	硬質六価クロムめっきに代わる微粒子分散複合めっき技術の開発	吉野電化工業(株) (株)吉野ハード (株)金子製作所 関東学院大学
	金属粉末成形用の金型潤滑油と塗布システムの開発	(株)青木科学研究所 ポーライト(株) R-GOT(株) 静岡大学 群馬県立産業技術センター
研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) ((独)科学技術振興機構)	開創部の骨形状を術中、光学的に3次元計測し人工関節の個別最適化を実現する手術支援システムの研究開発	(株)レキシー アルスロデザイン(株) 埼玉医科大学 東京大学附属病院 日産厚生会玉川病院
	1時間以内で個別最適化した手術を完了できる人工関節手術ナビゲーションシステムの臨床用試作の開発	(株)レキシー アルスロデザイン(株) 埼玉医科大学 東京大学附属病院 NPO三次元工学会 日産玉川病院
平成 24 年度 新たな農林水産政策を推進する実用 技術開発事業	高アミロース米のダイレクト糊化による低コスト高付加価値食品の開発	(株)新井機械製作所 (株)ブルミッシュ (独)農業・食品産業技術総合 研究機構 食品総合研究所 愛知県農業総合試験場 東京大学大学院

4.3 特許の取得推進とその活用

4.3.1 産業財産権の一覧

(1) 特許権

平成 24 年度は新たに 9 件の特許出願があった。

下表はセンターが所有する特許全 52 件(未公開 11 件含む)のうち、登録又は出願公開されたものである。なお、センターでは産業財産権のうち特許以外の出願及び権利の所有はない。

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
1	成形鏡面研削装置	H10.2.26 特願平 10-045434	H11.9.7 特開平 11-239969	H20.4.4 4104199	永井 寛 野口 清隆 新井 尚機 戸枝 保 出口 貴久 進藤 久宜 小熊 広之	(独)理化学研究所 共同
2	チタン系金属製品の製造方法及びチタン系金属製品	H14.6.17 特願 2002-176243	H16.1.22 特開 2004-18954	H22.8.20 4570315	出口 貴久	(株)アクトメント 共同
3	超磁歪素子の伸縮制御装置	H14.12.4 特願 2002-352179	H16.7.2 特開 2004-187419	H20.3.28 4102655	荻野 重人 宇野 彰一	
4	発酵風味菓子の製造方法	H15.6.6 特願 2003-162045	H16.12.24 特開 2004-357631	H20.9.19 4188146	井上 和春	みたけ食品工業(株)、(株) 愛工舎製作所 共同
5	粘弾性測定装置及び粘弾性測定方法	H15.10.31 特願 2003-372299	H17.5.26 特開 2005-134295	H21.4.21 4299100	関根 正裕 荻野 重人	(有)サズコーポレーション 共同
6	成型物の製造方法	H15.12.1 特願 2003-401363	H17.6.23 特開 2005-161605	H20.8.22 4171788	山本 誠	(株)クラレ、(協)フォレスト西川 共同
7	チタン系金属製品の製造方法	H16.2.27 特願 2004-53845	H17.9.8 特開 2005-240144	H22.2.5 4452524	出口 貴久	(株)アクトメント 共同
8	漬床及びこれを用いた漬物の製造方法	H16.3.30 特願 2004-098398	H17.10.13 特開 2005-278531	H20.10.24 4205006	井上 和春 大澤 千恵子	みたけ食品工業(株)、(株) 愛工舎製作所、東洋大学 共同
9	積層板及びその製造方法	H16.5.11 特願 2004-140996	H17.11.17 特開 2005-319733	H22.6.11 4527238	山本 誠	(株)クラレ、(協)フォレスト西川 共同
10	大腸菌群の汚染源特定方法及びその検出に使用する大腸菌群検出用培地セット	H17.8.8 特願 2005-229680	H19.2.22 特開 2007-43921	H23.7.29 4789540	富永 達矢 関根 正裕	
11	超微小硬さ等測定装置及び測定方法	H17.11.18 特願 2005-334061	H19.6.7 特開 2007-139592	H21.9.18 4376858	荻野 重人	
12	チタン系金属材料用電解エッチング液及びチタン系金属製品の製造方法	H18.1.16 特願 2006-7700	H19.7.26 特開 2007-186776	H24.2.17 4925670	出口 貴久	
13	ドリルのシンニング装置及びシンニング形成方法	H18.2.3 特願 2006-27551	H19.8.16 特開 2007-203427	H23.12.16 4882103	南部 洋平 落合 一裕	日本ノズル精機(株) 共同
14	センサー機能付アクチュエータ装置および粘弾性測定装置	H18.7.20 特願 2006-198697	H20.2.7 特開 2008-29111	H25.2.8 5190606	関根 正裕	(有)サズコーポレーション、(有)カトランスフォーマ、共同
15	変形測定装置、変形測定方法及び変形測定プログラム	H19.3.19 特願 2007-69810	H20.10.2 特開 2008-232686	H24.6.22 5017556	白石 知久 栗原 英紀	
16	身体傾斜角計測器および身体ねじれ角計測器	H19.5.29 特願 2007-141889	H20.12.11 特開 2008-295527	H23.12.16 4885795	半田 隆志	他 2 名共同
17	溶接装置および溶接方法	H19.6.1 特願 2007-146598	H20.12.11 特開 2008-296260	H24.12.14 5156266	白石 知久 栗原 英紀	他 1 名 共同
18	耐アルミニウム溶湯溶損性鋳鉄の製造方法及び耐アルミニウム溶湯溶損性鋳鉄	H19.6.7 特願 2007-151716	H20.12.18 特開 2008-303425	H23.8.5 4796994	永野 正明 森田 憲輔	児玉鋳物(株) 共同

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
19	汚染粒子処理装置	H19.6.12 特願 2007-155197	H20.12.25 特開 2008-307436	H22.10.1 4596433	栗原 英紀 井村 俊彦	埼玉大学 共同
20	研削加工用砥石の製造装置及び製造方法	H19.6.15 特願 2007-158686	H20.12.25 特開 2008-307647	H25.1.18 5178060	落合 一裕 南部 洋平	(株)タナカ技研、 埼玉大学 共同
21	樹脂構造物の製造方法	H19.3.23 特願 2007-76552	H20.10.2 特開 2008-231355	H25.3.1 5205636	山田 岳大	
22	大腸菌群に属する細菌の検出方法	H20.4.28 特願 2007-117212	H21.11.12 特開 2009-261363		富永 達矢 関根 正裕	
23	動的粘弾性測定装置	H21.6.1 特願 2009-131935	H22.2.4 特開 2010-25923		山田 岳大 関根 正裕	
24	加熱調理装置	H22.3.12 特願 2010-516841	H21.12.7 PCT/JP2009/60429	H24.11.9 5130363	関根 正裕 樋口 誠一 高橋 学 常見 崇史	(株)T.M.L、学校法人早稲田大学 共同
25	振動生成装置、動的粘弾性測定装置、および、動的粘弾性測定装置	H20.8.22 特願 2008-214580	H22.3.4 特開 2010-48722		関根 正裕	(株)GMタイセー 共同
26	変位拡大装置	H20.9.8 特願 2008-229737	H22.3.25 特開 2010-68549		荻野 重人	
27	品質評価装置	H20.10.27 特願 2008-275700	H22.5.6 特開 2010-101839		関根 正裕 栗原 英紀 富永 達矢	(株)真韻 共同
28	ドレッシングの素、ドレッシング及びドレッシングの素の製造方法	H20.12.26 特願 2008-331697	H22.7.8 特開 2010-148468		井上 和春	みたけ食品工業 (株)、東洋大学、 (株)愛工舎製作所 共同
29	二次電池	H21.3.30 特願 2009-81371	H22.10.14 特開 2010-232148		栗原 英紀 井村 俊彦	
30	耐アルミニウム溶湯溶損性鋳鉄の製造方法およびアルミニウム溶湯溶損性鋳鉄	H21.4.28 特願 2009-99126	H22.11.4 特開 2010-248571		森田 憲輔 永野 正明 矢澤 貞春	児玉鋳物(株) 共同
31	射出成型装置	H21.4.28 特願 2009-110173	H22.11.18 特開 2010-260175	H22.11.19 4628476	山田 岳大	PLAMO(株) 共同
32	正極活物質、マグネシウム二次電池および正極活物質の製造方法	H21.11.17 特願 2009-261903	H23.6.2 特開 2011-108478		栗原 英紀 斉田 吉裕 稲本 将史	
33	加熱調理装置、および、加熱調理方法	H22.3.12 特願 2012-504256	H23.9.15 WO/2011/111231		関根 正裕	(株)T.M.L、(株)新井機械製作所 共同
34	バーチャルウエスタンプロットティングシステム	H22.4.28 特願 2012-512589	H23.11.3 WO/2011/135701		関根 正裕	(株)エスビー健康研究所 共同
35	品質保持剤およびその用途	H22.7.2 特願 2010-151674	H24.1.19 特開 2010-10658		小島登貴子 樋口 誠一 仲島日出男	

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
36	モリブデン系金属材料用電解加工液、およびこれを用いるモリブデン系金属製品の製造方法	H22.7.2 特願 2010-152188	H24.1.19 特開 2012-11520		出口 貴久	
37	正極活物質、マグネシウム二次電池および正極活物質の製造方法	H22.11.8 特願 2010-249765	H24.5.31 特開 2012-104289		栗原 英紀 稲本 将史	
38	マグネシウム二次電池用の電解液、マグネシウム二次電池および電解液の製造方法	H23.1.17 特願 2011-7251	H24.8.9 特開 2012-150924		栗原 英紀 稲本 将史	
39	切削加工装置、振動条件提示装置及びその方法	H23.3.9 特願 2011-52238	H24.10.4 特開 2012-187656		南部 洋平 落合 一裕	
40	鑄鉄金型におけるアルミダイカスト品の製造方法	H23.6.6 特願 2011-126464	H24.12.20 特開 2012-250273		永野 正明 菊池 和尚	児玉鑄物(株) 共同
41	変位拡大装置	H23.7.22 特願 2011-160673	H25.2.4 特開 2013-27191		荻野 重人	

4.3.2 実施許諾

本年度は「身体傾斜角計測器および身体ねじれ角計測器」、「射出成型装置」、「振動生成装置、動的粘弾性測定装置、および、動的粘弾性測定方法」の計3件の実施許諾契約を締結し、実施許諾先企業数は合計 14 社(使用特許数は 15 件)となった。

5 交流

県内中小企業の技術交流を支援するとともに、他の鉱工業公設試験研究機関との交流に努めた。また、講演会、審査会、各種会議等に職員を派遣した。

5.1 異業種交流支援事業

5.1.1 産学官交流プラザ

埼玉県技術交流プラザ終了企業を中心として発足し、技術及び経営等に関する情報交換、大学・企業等との交流、研修会及び講演会等の産学官交流を行った。総会・例会・研修会・役員会の開催 12 回、参加者 135 名であった。主な活動実績は次のとおりである。

会 長：河野 律子(有限会社 河野経営研究所 代表取締役)

会員数：33 社

年月日	開催場所	内 容
H24.5.29	埼玉県男女共同参画推進センター	◇平成24年度総会 ◇講演会「海外進出とものづくり人材の育成」 フォーク株式会社 会長 小谷野正道氏
H24.7.26	大宮ソニックシティ	第1回例会 講演「元気企業の秘策」 株式会社ぎょうざの満州 代表取締役会長 金子梅吉氏
H24.9.11	株式会社KHK野田	第2回例会 株式会社KHK野田 工場見学会
H24.12.11	大宮ソニックシティ	第3回例会 講演「今何をなすべきか」 埼玉縣信用金庫 常任理事 浦和支店長 神田茂氏
H25.2.14	株式会社マスタック	第4回例会 株式会社マスタック本社・工場の見学会

5.1.2 埼玉県北部地域技術交流ネットワーク(埼玉北ネット)

北部研究所強化事業の一環として、県北地域の中小企業経営者を中心に平成 20 年度に発足した異業種グループで、活動実績は次のとおりである。

代表幹事：田端 克雄((有)フィールド・サイド 代表)

会 員 数：5 名

年月日	開催場所	内 容
H24.4.12	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第1回例会 ・平成24年度の活動計画 ・情報交換
H24.5.17	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第2回例会 ・情報交換
H24.6.21	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第3回例会 ・情報提供 SAITEC の BEMS・HEMS 実証実験について 食品放射性物質新基準と測定方法について
H24.7.19	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第4回例会 ・情報提供 電気自動車パークアンドライド実証試験 自然エネルギー推進自然学校ネットワークについて
H24.9.21	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第5回例会 ・情報提供 東南アジア視察報告
H24.10.16	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第6回例会 ・北部研究所研究発表会
H24.11.6	ものづくり大学	◇第7回例会 ・埼玉北部地域技術交流会

年月日	開催場所	内 容
H24.12.12	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第8回例会 ・情報提供 SAITEC の概況 震災復興支援県外視察報告
H25.1.17	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第9回例会 ・情報提供 フリーソフトについて エキナセアの商品開発について
H25.2.6	さいたまスーパーアリーナ	◇第10回例会 ・農商工連携フェア視察
H25.3.6	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第11回例会 ・食品セミナーへの参加 ・情報交換

5.1.3 埼玉食品テクノプラザ

食品関係の技術開発や経営管理等の講演会への参加、各県アンテナショップへの視察等、活発な交流活動を実施した。

代表幹事： 笹木 弘治(笹木醤油(株) 代表取締役社長)

会 員 数： 15 名

年月日	開催場所	内 容
H24.5.14	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇役員会
H24.6.25	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇役員会 ◇総会 ・平成23年度事業報告 平成23年度決算報告 ・平成24年度事業計画 平成24年度予算 ・役員選出
H24.9.12 H24.10.11 H24.11.15	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇食品調味料講習会(埼玉県漬物組合主催) ・「発酵調味料について」(三菱フードテック) ・「食酢について」(ミツカン) ・「メニュークリエイション」(味の素) 「消費動向から見た漬物市場動向」
H24.9.27	東京都	◇都内視察(新旧商店街の比較) ・巣鴨地藏通り商店街 ・ソラマチ商店街・スカイツリー
H24.10.16	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇北部研究所研究発表会 ・研究発表会 ・技術講演会 「小麦・小麦粉の物理化学的性質に基づいた製粉工程の効率化」 講師:工学院大学 山田昌治氏
H24.11.6	ものづくり大学	◇北部地域技術交流会 ・食テク紹介及びメンバー企業製品の展示
H24.11.28 ～11.29	福島県ほか	◇県外視察(震災復興支援) ・久之浜浜風復興商店街ほか ・ヨネビシ醤油工場見学(常陸太田市)ほか
H25.3.6	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇講演会 「小麦粉の性質に基づいたパンと麺の科学」 講師:工学院大学 山田昌治氏

5.1.4 さきたま利根テクノプラザ(STTEP)

会員が抱える開発、技術関連及び経営等の課題について、情報や意見交換等を行い、中小企業の発展及び技術の向上や、技術交流及び経営交流の促進を目的とする。本グループの事務局は北部研究所が担当しており、会員は13企業である。

代 表： 小菅 一憲（東洋パーツ株式会社 会長）

参加企業： 13 企業

年月日	開催場所	内 容
H24.4.19	長瀨町、長生館	情報交換
H24.5.25	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H24.6.22	熊谷市農業活性化センター	情報交換
H24.7.13	寄居町、京亭	情報交換
H24.9.19	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H24.10.25	寄居町、鉢形城歴史館	情報交換
H24.11.20	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H24.12.20	熊谷市、善	情報交換
H25.2.21	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H25.3.21	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換

5.2 新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)

各種研究会、交流会を支援するため、各会事務局を担当した。

(1) 鋳物技術委員会

本県鋳物工業の生産技術の向上を目的として当センターの業務に有効・適切な助言と指導を受けるため、年間4回の委員会を開催した。主な事業は鋳造技術コンクールに関する助言、鋳造技術に関する講演会・講習会の内容の検討等である。なお、委員会は、県依頼の委員3名、業界依頼の委員4名及び川口市職員1名、県職員2名の10名の委員にオブザーバー2名の合計12名で構成する。

平成24年度は委員会を4回開催した。参加者は延べ64名であった。

(役員)	委員長	川口鋳物工業協同組合	技術顧問	山中 昇
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター	材料技術担当	
		川口鋳物工業協同組合	総務課	

(2) 埼玉県ものづくり研究会

本研究会は、ものづくりのコア技術ならび関連技術の普及、向上に寄与することを目的に、平成19年7月に埼玉県NC工作機械研究会と埼玉県金型研究会を発展的に統合し設立され、講演会、講習会の開催、加工・組み立て技術に関する研究開発、技術者の養成等を主な事業としている。平成24年度は、講演会5回、見学会1回を開催し、参加者は、延べ151名であった。

(会員数) 正会員44社、賛助会員4社

(役員)	会長	(株)田口型範	田口 順
	副会長	藤田企画	藤田 賢二
	〃	(株)ユニテック	斉藤 正洋
	〃	(株)チバダイス	千葉 英樹
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター	機械技術担当

(3) 埼玉県熱処理技術研究会

本会は、熱処理関連企業の熱処理技術を向上するため、昭和44年6月に設立され、講演会の開催、工場見学、会報の発行を主な事業としている。

平成24年度は講演会を2回、講習会を2回開催し、参加者は延べ189名であった。

(会員数) 63社

(役員)	会長	山方技術士事務所	山方 三郎
	副会長	東武冶金(株)	細田 治
	〃	オリエンタルエンジニアリング(株)	宗村 進之介
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター	材料技術担当

(4) 品質工学フォーラム埼玉(QEF 埼玉)

品質工学は、量産現場における工程管理だけでなく、製品開発や技術開発を効率よく行う工学的手段である。本研究会は、全国組織である品質工学会の埼玉県内在勤・在住の会員を中心に品質工学の普及・発展を図るために設立し、会場の提供や研究会の運営について当センターが支援している。月に一度の定例会と年に数回講演会を行っている。

平成24年度は定例会を12回開催し、参加者は延べ101名であった。

(会員数) 32名

(役員)	代表	(株)アルビオン	深澤 宏
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター	材料技術担当

(5) 埼玉県米菓研究会

会員の技術の向上並びに会員相互の親睦を図るため、研究会を開催した。

平成24年度は定例会3回開催し、参加者は延べ72名であった。

(会員数) 39社(正会員33、賛助会員6)

(役員)	会長	(株)折原米菓工場	折原 一嘉
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター北部研究所	食品・バイオ技術担当

(6) 清酒製造技術研究会

県産清酒の品質向上、清酒の多様化に対応する品質設計、清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために研究会を開催した。

(会員数) 35社

(事務局)		埼玉県産業技術総合センター北部研究所	食品・バイオ技術担当
-------	--	--------------------	------------

(6.1) 市販清酒研究会

流通過程における品質について外装審査、官能評価及び成分分析の試験調査を行って把握し、新製品開発の一助にする。併せて、きき酒能力の向上を図る。

実施日：平成24年6月26日

調査試料：戦略的商品

出品点数：31点

参加者：46名(埼玉県吟友会会員、製造担当者、彩の国酒造り学校生徒、他)

(6.2) 清酒研究会

清酒の多様化に対応する品質並びに清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために、出品酒の官能評価を行い、製造管理及び貯蔵・出荷管理について検討する。また、吟醸酒のきき酒を行い、酒質の判定能力の向上を図る。

実施日：平成24年9月11日

出品点数：吟醸酒の部 57点(17場)

純米の部 28点(17場)

参加者：28名(杜氏、酒造担当者)

(6.3) 吟醸酒研究会

平成23酒造年度全国新酒鑑評会金賞受賞杜氏をパネラーとし、パネルディスカッション等を通じて吟醸酒造りの技術水準向上を図る。

実施日：平成24年12月18日

参加者：18名(杜氏、酒造担当者)

パネルディスカッション：「吟醸酒づくりの要点」

パネリスト	(株)矢尾本店	鷹木 杜氏
	滝澤酒造(株)	滝澤 杜氏
	横田酒造(株)	高橋 杜氏

講演：「埼玉県内各社の平成23酒造年度全国新酒鑑評会出品調査票及び審査結果より」

講師：埼玉県産業技術総合センター北部研究所 主任研究員 横堀 正敏

(6.4) 杜氏酒造研究会

清酒製造について本酒造年度における問題点を提起し、今後の酒造管理に反映させる。また、吟醸酒のきき種を行い、酒質の判定能力の向上を図る。

実施日：平成25年3月13日

参加者：20名(杜氏、酒造担当者)

講演：「吟醸酒の管理と出品について」

講師：埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 主任研究員 横堀 正敏

(6.5) 新酒研究会

全国新酒鑑評会への出品に向け、その候補たる火入れ酒の官能評価を行い、成分分析値と共に検討することによって、入賞および金賞受賞点数の増加を図る。

実施日：平成25年3月26日

出品点数：42点

参加者：22名(杜氏、酒造担当者)

(7) 漬物作り学校

漬物製造企業の職員を対象に、講習会、研究会を開催した。

(ア) 講習会の開催

平成24年9月12日 第1回「発酵と発酵調味料について」参加34名

平成24年10月11日 第2回「やさしいお酢のはなし」参加34名

平成24年11月15日 第3回「消費者調査からみた漬物市場動向」参加24名

(イ) 研究会の開催 全6回

(ウ) 技術講習会(中小企業等研究者養成研修)への参加 11名

5.3 首都圏連合推進事業(公設試版)【研究発表：他県を含む】

首都圏(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県及び横浜市)の工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを図るとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することにより首都圏産業の活性化を図った。

- (1) 首都圏公設試連携推進会議の開催 3回(第39回～第41回)
 - ① 平成24年5月22日(火) 千葉県産業支援技術研究所 天台庁舎
 - ② 平成24年8月30日(木) 埼玉県産業技術総合センター
 - ③ 平成24年11月30日(金) (地独)東京都立産業技術研究センター墨田支所

- (2) 首都圏公設試連携推進会議(TKFフォーラム)の開催 1回(第42回)
 - ① 平成25年3月1日(金) 神奈川県産業技術センター

- (3) 研究発表者相互派遣事業
 - ① 発表者派遣
 - ア) (地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会への参加

平成24年6月14日(木)
 技術支援室 電気・電子技術担当 専門研究員 荻野 重人
 平成24年6月15日(金)
 技術支援室 機械技術担当 主任 南部 洋平
 - イ) 千葉県産業支援技術研究所研究発表会への参加

平成24年7月25日(水)
 北部研究所 食品・バイオ技術担当 主任 富永 達矢
 北部研究所 食品・バイオ技術担当 技師 成澤 朋之
 - ウ) 神奈川県産業技術センター研究発表会への参加

平成24年11月7日(水)
 技術支援室 機械技術担当 主任 南部 洋平
 技術支援室 戦略プロジェクト推進担当 技師 稲本 将史
 平成24年11月9日(金)
 技術支援室 機械技術担当 専門研究員 出口 貴久
 - ② 評価委員派遣
 - ア) (地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会への派遣

平成24年6月14日(木)
 技術支援室 戦略プロジェクト担当 主任 栗原 英紀
 平成24年6月15日(金)
 技術支援室 電気・電子技術担当 専門研究員 能戸 崇行
 - ③ 発表者受け入れ(SAITEC 研究発表会)
 - ア) 川口会場(本所):平成24年10月4日(木)

東京都 2名
 神奈川県 1名
 千葉県 1名

- (4) 産業交流展2012への参加
 - ① 期日:平成24年11月20日(火)～22日(木)
 - ② 場所:東京国際展示場

- (5) パートナー・グループ事業
 - ① 微細加工分科会の実施

年月日	場 所	参 加 者
H25.2.1	埼玉県産業技術総合センター	機械技術担当 町田 芳明 出口 貴久 南部 洋平 落合 一裕

② 熱処理・表面処理パートナーグループの実施

年月日	場 所	参 加 者
H24.5.11	神奈川県産業技術センター	材料技術担当 笹川 俊夫 進藤 久宜

(6) その他への発表(他県での研究発表会等)

本所

年月日	研究 題 目	発 表 者 名	発 表 会 名	論 文
				掲 載 雑 誌 名
H24.6.14	ピエゾ素子用高剛性変位拡大機構の開発	電気・電子技術担当 荻野 重人	平成24年度 (地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会	平成24年度 (地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会要旨集
H24.6.15	高アスペクト比微細深穴加工に関する研究	機械技術担当 南部 洋平	平成24年度 (地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会	平成24年度 (地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会要旨集
H24.11.7	高アスペクト比微細深穴加工に関する研究	機械技術担当 南部 洋平	平成24年度 神奈川県産業技術センターものづくり技術交流会	平成24年度 神奈川県産業技術センターものづくり技術交流会要旨集
H24.11.7	マグネシウム二次電池正極材料の開発	戦略プロジェクト推進担当 稲本将史	平成24年度 神奈川県産業技術センターものづくり技術交流会	平成24年度 神奈川県産業技術センターものづくり技術交流会要旨集
H24.11.9	毒劇物を用いないステンレス鋼の電解研磨	機械技術担当 出口 貴久	平成24年度 神奈川県産業技術センターものづくり技術交流会	平成24年度 神奈川県産業技術センターものづくり技術交流会要旨集

北部研究所

年月日	研究 題 目	発 表 者 名	発 表 会 名	論 文
				掲 載 雑 誌 名
H24.7.25	遺伝子検出による迅速微生物解析技術の開発	食品・バイオ技術担当 富永 達矢	平成24年度 千葉県産業支援技術研究所研究成果発表会	平成24年度 千葉県産業支援技術研究所研究成果発表会要旨集
H24.7.25	県産小麦の新規ブレンド粉の開発	食品・バイオ技術担当 成澤 朋之	平成24年度 千葉県産業支援技術研究所研究成果発表会	平成24年度 千葉県産業支援技術研究所研究成果発表会要旨集

(7) 広域首都圏輸出製品技術支援センター(略称:MTEP)

首都圏の公設試が連携して実施する中小企業の海外展開支援サービスで、国際規格や海外の製品規格についての相談や情報提供、海外の製品規格に適合した評価試験について技術的な支援を実施するもので、平成24年10月24日(地独)東京都立産業技術研究センター内に開所し、以下の事業を行った。

- ① 県内企業の利用実績 41件(平成24年度)
- ② 運営(準備)会議
 - ・平成24年4月13日(金) 長野県工業技術総合センター
 - ・平成24年7月13日(金) (地独)東京都立産業技術研究センター
 - ・平成24年10月24日(水) (地独)東京都立産業技術研究センター(開所式)
 - ・平成25年3月1日(金) 神奈川県工業技術センター

5.4 RINGS NET（新潟、群馬、埼玉 3 県公設試連携）

新潟、群馬、埼玉の工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを図るとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することを目的に設立し、下記の事業を行った。

- (1) 3 県公設試連携推進会議の開催 3 回
- ① 平成 24 年 5 月 31 日(木) 群馬県立群馬産業技術センター
 - ② 平成 24 年 8 月 30 日(木) 埼玉県産業技術総合センター
(首都圏公設試連携推進会議と合同開催)
 - ③ 平成 25 年 3 月 6 日(水) 長野県工業技術総合センター

(2) 研究発表者相互派遣事業

- ① 講師派遣
平成 24 年 6 月 15 日(金) 新潟県工業技術総合研究所
事業化支援室 担当部長 影山 和則
「埼玉県における次世代自動車産業支援への取組紹介」
- ② 発表者受け入れ
熊谷会場(北部研究所):平成 24 年 10 月 16 日(火)
群馬県 1 名
新潟県 1 名

(3) 担当分野別交流会等の開催

① 上信越公設研ネット機関長・企画担当者会議

年月日	場 所	参 加 者
H24.11.13	群馬県立群馬産業技術センター	企画・総務室 副室長 高橋 利男 企画担当 小口 正浩

② 技術部長交流会

年月日	場 所	参 加 者
H24.12.5	長野県工業技術総合センター	技術支援室 小林 孝司

③ 環境対応技術分野交流会

年月日	場 所	参 加 者
H25.3.6	長野県工業技術総合センター	企画担当 小口 正浩

④ LED 技術分野交流会

年月日	場 所	参 加 者
H25.2.20	(地独)東京都立産業技術研究センター	企画担当 森田 寛之 電気・電子技術担当 岩崎 正太

⑤ 非破壊検査技術分野交流会

年月日	場 所	参 加 者
H25.1.21	栃木県産業技術センター	材料技術担当 菊池 和尚

5.5 講演会等講師派遣

本所

年月日	名称	会場	主催者・内容	講師
H24.5.29	節電セミナー	騎西生涯学習センターキャッスルきさ	主催者:加須市 内容:今夏の電力需給予想とSAITECの節電・省エネ支援について	名倉 寿夫
H24.5.29	節電セミナー	大利根生涯学習センターアスタホール	主催者:加須市 内容:今夏の電力需給予想とSAITECの節電・省エネ支援について	名倉 寿夫
H24.6.21	将来加工技術第136委員会 第2回(第1部会)研究会	池上金型工業(株) 大利根事業所	主催者:(独)日本学術振興会 内容:難削材料の微細深穴加工技術	南部 洋平
H24.8.9	事業者向け省エネ・節電セミナー	川口センタービル	主催者:川口市 内容:省エネサポートチームによる支援について	名倉 寿夫
H24.10.31	精密工学会 第3回切削加工専門委員会	東京電機大学 東京千住キャンパス	主催者:(社)精密工学会 切削加工専門委員会 内容:微細深穴加工に対する低周波振動付加	南部 洋平
H24.12.7	第39回日本股関節学会	新潟コンベンションセンター	主催者:日本股関節学会 内容:ナビゲーションシステムの実演	半田 隆志

北部研究所

年月日	名称	会場	内容	講師
H24.4.4	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	開講式	増田 こずえ 横堀 正敏 南澤 賢 鈴木 康修
H24.4.17	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	物理・化学・数学	鈴木 康修
H24.5.16	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	物理・化学・数学	南澤 賢
H24.5.16	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	原料(水)	横堀 正敏
H24.7.4	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	原料(米)	増田 こずえ
H24.9.19	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	閉講式	横堀 正敏 南澤 賢 鈴木 康修
H24.10.3	全国きき酒選手権埼玉県大会	大宮ソニックシティ	埼玉県酒造組合・審査員	増田 こずえ 横堀 正敏 南澤 賢
H24.10.3	埼玉35歳大試飲会	大宮ソニックシティ	埼玉県酒造組合・酒造技術ブース出展	増田 こずえ 横堀 正敏 南澤 賢 鈴木 康修
H24.10.10 10.24	彩の国酒造り学校	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	埼玉県酒造組合・精米実習	横堀 正敏 南澤 賢 鈴木 康修

年月日	名 称	会 場	内 容	講 師
H24.11.13	川口小売酒販組合経営 活性化研修	川口市立ふれあい プラザさくら	美味しい埼玉県産清酒の魅力	横堀 正敏
H24.11.29	平成24酒造年度酒造 講話会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	話題提供	横堀 正敏
H24.12.14	平成24年度6次産業人材 育成研修会	マロウドイン熊谷	県産小麦「さとのそら」について	小島 登貴子

5.6 審査会等への派遣

本 所

年月日	審 査 会 等 名	会 場	出席者名
H24.6.24	平成24年度技能検定(鋳鉄鋳物鋳造作業) 実技試験	永井機械鋳造(株)	菊池 和尚
H24.6.27	草加市研究開発型企業育成部門 補助金審査会	草加市役所	戸枝 保
H24.7.4	平成24年度技能検定(鋳鉄鋳物鋳造作業) 審査会	埼玉県産業技術総合センター	菊池 和尚
H25.8.26	技能検定実技試験(金属熱処理)	オリエンタルエンジニアリング(株)	笹川 俊夫
H24.9.10	彩の国技能者表彰審査会	埼玉会館	小林 孝司
H24.9.13	川口新製品等開発振興奨励制度審査会 要領検討会議	埼玉県産業技術総合センター	小林 孝司
H24.10.10	第48回埼玉県鋳造技術コンクール審査会	埼玉県産業技術総合センター	小林 孝司
H24.10.17	彩の国優良ブランド品奨励制度審査会	大宮合同庁舎	小林 孝司
H24.10.26	川口新製品等開発振興奨励制度審査会	埼玉県産業技術総合センター	小林 孝司
H24.10.29	第1回鋳造技術コンクール(軽合金)審査会	川口鋳物工業協同組合	小林 孝司
H24.11.28	草加モノづくりブランド認定部会	草加商工会議所会館	小林 孝司
H25.1.27	技能検定実技試験(金属組織)	オリエンタルエンジニアリング(株)	篠崎 誠
H25.2.7	卓越した技能者表彰審査会	衛生会館	小林 孝司

北部研究所

年月日	審 査 会 等 名	会 場	出席者名
H24.4.24 ~4.26	平成23酒造年度全国新酒鑑評会予審	(独)酒類総合研究所	横堀 正敏
H24.6.1	第47回捺染作品競技会	熊谷市立文化会館	新井 尚機 宮原 進 高橋 広子
H24.6.13	埼玉県酒造組合秩父支部初呑切会	秩父地域地場産業振興センター	増田 こずえ 横堀 正敏
H24.6.21	埼玉県酒造組合西部ブロック初呑切会	小川町民会館	横堀 正敏 鈴木 康修
H24.7.19	藤崎惣兵衛商店初呑切及び市販酒の出荷管 理研究会	藤崎惣兵衛商店	横堀 正敏
H24.7.25	埼玉県酒造組合行田・熊谷支部合同初呑切会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	増田 こずえ 横堀 正敏 南澤 賢 鈴木 康修
H24.8.7	高校生ものづくりコンテスト・埼玉大会	県立久喜工業高校	小島 登貴子 鶴園 大
H24.9.12	第59回長野県清酒品評会	長野県工業技術総合センター 食品技術部門	横堀 正敏
H24.9.19	茨城県清酒鑑評会2012審査会	茨城県工業技術センター	増田 こずえ
H24.10.1 ~10.2	第83回関東信越国税局酒類鑑評会一審	関東信越国税局	横堀 正敏

年月日	審査会等名	会場	出席者名
H24.10.10	第83回関東信越国税局酒類鑑評会二審	関東信越国税局	増田 こずえ
H24.11.29	平成24酒造年度講話会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	横堀 正敏
H25.1.10	埼玉県ふるさと認証食品「味噌」官能審査会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	小島 登貴子 海野 まりえ
H25.1.16 ～1.17	技能検定(パン製造)	ベーカリーシステム研究所	海野 まりえ
H25.2.20	第41回埼玉県観光土産品審査会	大宮ソニックシティ	新井 尚機
H25.2.28～3.1	平成24事務年度全国市販酒類調査品質評価	関東信越国税局	南澤 賢
H25.3.7	埼玉県酒造組合中部ブロック新酒研究会	(株)文楽	横堀 正敏
H25.3.8	埼玉県酒造組合北部ブロック西部ブロック合同 新酒持ち寄り研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	増田 こずえ 横堀 正敏 南澤 賢
H25.3.14	食品関係調査研究評価委員会	さいたま新都心合同庁舎検査棟	小島 登貴子
H25.3.21	茨城県出品酒研究会	茨城県工業技術センター	横堀 正敏

5.7 技術評価

新製品開発等の補助金、表彰等に応募した企業の提案課題について技術評価を実施した。

事業名	依頼元	内容	件数
草加市研究開発型企業育成部門補助金	草加市産業振興課	草加市研究開発型企業育成部門 補助金審査会	3
草加モノづくりブランド認定審査会	草加市産業振興課	審査会	3
八潮市優良技術者及び技能者の選定に 係る評価会	八潮市商工観光課	評価会	5
合計：3事業			11

5.8 会議等への参加

本所

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H24.4.25	川口機械工業協同組合「総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦
H24.4.27	平成24年度第1回鑄造工学会・人材育成委員会	川口鑄物工業協同組合	永井 寛
H24.5.8	平成24年度鑄造カレッジ企画運営委員会及び合同委員会	機械振興会館	永井 寛
H24.6.1	東日本FRP工業会総会	ホテルブリランテ武蔵野	戸枝 保
H24.6.1	プラスチック成形加工学会 第114回企画委員会	(株)日本製鋼所	山田 岳大
H24.6.7～6.8	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 第19回表面技術分科会	(地独)東京都立産業技術研究センター	清水 宏一 森田 寛之
H24.6.11	第23回プラスチック成形加工学会年次大会	タワーホール船堀	山田 岳大
H24.6.15	プラスチック成形加工学会 第7回発泡・超臨界流体利用成形加工専門委員会	(株)日本製鋼所	山田 岳大
H24.6.20	埼玉県プラスチック振興会定期総会	市民会館うらわ	山田 岳大
H24.6.23	平成24年度鑄造カレッジ関東地区・開校式	川口鑄物工業協同組合	永井 寛
H24.6.26	産学連携支援ネットワーク会議総会	新都心ビジネス交流プラザ	原田 勝利
H24.6.27	川口機械工業協同組合「総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦
H24.6.28	(財)本庄国際リサーチパーク研究推進機構 2012年度第1回評議員会	早稲田リサーチパーク・ コミュニケーションセンター	齊藤 弘美
H24.7.10	第1回超小型内視鏡部品製造開発プロジェクト 委員会	新都心ビジネス交流プラザ	宇野 彰一 南部 洋平
H24.7.11 ～7.12	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロ ニクス部会 第17回電磁環境分科会及び第22 回EMC研究会	(地独)東京都立産業技術研究 センター 多摩テクノプラザ(1日目) 本部(2日目)	安藤 昌弘 宗形 隆史 岡林 美由貴 鈴木 啓介
H24.7.19 ～7.20	第85回公立鉦工業試験研究機関長協議会 総会	新潟東映ホテル	牟田口 照恭 小口 正浩
H24.7.27	第1回現場力強化研究会	新都心ビジネス交流プラザ	巻島 秀男 門間 由洋
H24.8.3	プラスチック成形加工学会 第115回企画委員 会	東京工業大学	山田 岳大
H24.8.7	第20回プラスチック成形加工学会秋季大会 プログラム編成委員会・実行委員会	名城大学名駅サテライト	山田 岳大
H24.8.22	川口機械工業協同組合「総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦
H24.9.13	川口新製品等開発奨励制度審査要領検討会 議	埼玉県産業技術総合センター	小林 孝司
H24.9.26	川口機械工業協同組合「総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦
H24.9.26 ～9.27	第103回全国公設試鉦工業試験研究機関事務 連絡会議	大阪市中央公会堂	高橋 利男
H24.9.27	第14回医療福祉技術シンポジウム	(地独)東京都立産業技術研究 センター	半田 隆志
H24.9.28	第2回現場力強化研究会	新都心ビジネス交流プラザ	巻島 秀男 門間 由洋
H24.10.17	川口機械工業協同組合「総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦
H24.11.2	産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域部 会総会・産業技術分科会 関東甲信越静地域産業技術連携推進会議	千葉県産業技術支援研究所	鈴木 康之 高橋 利男
H24.11.8 ～11.9	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 金型・材料研究会	阿波観光ホテル	南部 洋平

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H24.11.14 ～11.16	電池討論会	福岡シーホーク	栗原 英紀 稲本 将史
H24.11.16	コラボ産学官埼玉支部 技術課題相談会	コピスみよし	齊藤 弘美
H24.11.16	全国公設鈹工業試験研究機関事務連絡会議 関東・甲信越・静ブロック会議	(地独)東京都立産業技術研究 センター	小口 正浩
H24.11.19	(財)本庄早稲田国際リサーチパーク創立10周 年記念式典	埼玉グランドホテル本庄	齊藤 弘美
H24.11.27 ～11.28	産業技術連携推進会議 ナノテク・材料部会 素形材分科会 全国公設試験研究機関素形材 技術担当者会議および総会	愛知県産業労働センター	永井 寛
H24.12.4	第24回プラスチック成形加工学会13年年次大 会実行委員会	東京工業大学	山田 岳大
H24.12.5	プラスチック成形加工学会 第47回技術交流会	日本ゼオン(株)	山田 岳大
H24.12.5 ～12.7	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 計測 分科会、分析分科会、形状計測研究会、総会、 特別意見交換会	ホテル福島グリーンパレス	戸枝 保 宇野 彰一 島崎 景正 蓮 俊介 内藤 理恵 鈴木 昌資 菊池 和尚 原田 雅典
H24.12.11	第2回超小型内視鏡部品製造開発プロジェクト 委員会	埼玉大学	宇野 彰一 南部 洋平
H24.12.17	プラスチック成形加工学会 第8回発泡・超臨界 流体利用成形加工専門委員会	京都市産業技術研究所	山田 岳大
H24.12.19	第3回現場力強化研究会	新都心ビジネス交流プラザ	巻島 秀男 門間 由洋
H25.1.23	川口機械工業協同組合「総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦
H25.1.25	プラスチック成形加工学会 第117回企画委員 会	三井化学(株)本社	山田 岳大
H25.1.29	(財)本庄早稲田国際リサーチパーク2012年度 第1回評議員会	早稲田リサーチパーク・ コミュニケーションセンター	齊藤 弘美
H25.2.7	第3回超小型内視鏡部品製造開発プロジェクト 委員会	新都心ビジネス交流プラザ	宇野 彰一 南部 洋平
H25.2.8	プラスチック成形加工学会 第24回年次大会実 行委員会	東京工業大学	山田 岳大
H25.2.14	第4回現場力強化研究会	新都心ビジネス交流プラザ	巻島 秀男 門間 由洋
H25.2.15	平成 24 年度鑄造カレッジ関東地区 発表会及 び修了式	ホテルふせじま	永井 寛
H25.2.18 ～2.19	平成24年度産業技術連携推進会議 製造プロ セス部会 メカトロニクス分科会 第1回メカトロ 試験装置ワーキンググループ	北海道大学	荻野 重人
H25.2.27	川口機械工業協同組合「総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦
H25.3.1	産業技術連携推進会議 総会	アルカディア市ヶ谷	牟田口 照恭 小口 正浩
H25.3.7	産学連携支援ネットワーク会議セミナー	埼玉大学	原田 勝利
H25.3.11	新加工専門委員会 第41回委員会	東京大学 生産技術研究所	山田 岳大
H25.3.11	JNLA15周年シンポジウム	イイノホール	巻島 秀男
H25.3.11 ～3.12	ISO国際会議 (ISOTC173/SC1/WG)	Gaylord Opryland Hotel (アメリ カ)	半田 隆志
H25.3.27	川口機械工業協同組合「総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦

北部研究所

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H24.4.6	米粉産業展	東京ビックサイト	常見 崇史
H24.4.20	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会 第1回幹事会	(地独)東京都立産業技術研究センター墨田支所	新井 尚機 宮原 進
H24.4.20	AACC日本支部講演会	(社)日本パン技術研究所	小島 登貴子
H24.4.26	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会 関東・東北地域連絡会総会	神奈川県産業技術センター	新井 尚機
H24.4.26	パン技術研究所講演会	(社)日本パン技術研究所	海野 まりえ
H24.5.15	大麦食品推進会議	埼玉県農林総合研究センター 水田農業研究所	小島 登貴子
H24.5.17	第59回埼玉県酒造組合通常総会	岸権旅館	新井 尚機
H24.5.17	第42回埼玉県漬物協同組合通常総会	埼玉グランドホテル深谷	増田 伸二
H24.5.21	埼玉県吟友会平成23年度通常総会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	横堀 正敏
H24.5.21	大里地域機関会議	マロウドイン熊谷	新井 尚機
H24.5.22 ～5.23	第48回(独)酒類総合研究所講演会 平成23酒造年度全国新酒鑑評会製造技術研究会	東広島市市民文化センター	鈴木 康修
H24.5.23	国際食品素材/添加物展	東京国際展示場	樋口 誠一
H24.5.25	第64回埼玉醤油工業協同組合通常総会	ホテルガーデンパレス	新井 尚機
H24.5.25	第63回埼玉県生麺業協同組合通常総会	大宮サンパレス	小島 登貴子
H24.5.25	(財)埼玉県産業振興公社 第1回評議員会	(財)埼玉県産業振興公社	新井 尚機
H24.5.29	イムノクロマト講習会	TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター	富永 達矢
H24.5.31	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会総会及び繊維工業技術総会	毛織会館(岐阜県)	新井 尚機
H24.6.12	埼玉県酒造業感謝状贈呈式	知事公館	新井 尚機 横堀 正敏
H24.6.14	熊谷工場懇話会・第42回通常総会	マロウドイン熊谷	新井 尚機
H24.6.15	日本酒フェア2012 (平成23酒造年度全国新酒鑑評会公開きき酒会、第6回全国日本酒フェア)	池袋サンシャインシティ	増田 こずえ 横堀 正敏 南澤 賢 鈴木 康修
H24.6.28	埼玉県食品工業協会・第48回通常総会	マロウドイン熊谷	新井 尚機
H24.7.4	新潟県酒造技術研究発表会	ホテルニューオータニ長岡	横堀 正敏
H24.7.6	関東甲信越地区食品醸造研究会	群馬県立群馬産業技術センター	小島 登貴子
H24.7.6	理研シンポジウム	(独)理化学研究所	成澤 朋之
H24.7.20	食総研・産総研ジョイントシンポジウム	星陵会館	成澤 朋之
H24.7.25	食品品質保持研究会講演会	(財)主婦会館プラザエフ	小島 登貴子
H24.7.27	(財)埼玉県産業振興公社 第2回評議員会	(財)埼玉県産業振興公社	新井 尚機
H24.8.20	埼玉県酒造協同組合 第43回通常総会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	新井 尚機
H24.8.29 ～8.30	日本食品科学工学会大会	藤女子大学	小島 登貴子 樋口 誠一
H24.9.7	平成24年度「さけ武蔵」現地検討会	熊谷市内圃場	横堀 正敏
H24.9.11	日本防菌防黴学会	品川区立総合区民会館	細井 永次
H24.9.20	第36回酒米懇談会	北区滝野川会館	鈴木 康修
H24.9.26 ～9.27	日本醸造学会大会	北とびあ・つつじホール	南澤 賢 鈴木 康修
H24.10.3	アグリ技術セミナー	日本自転車会館	鶴園 大 海野 まりえ
H24.10.18	第57回全国酒造技術指導機関合同会議	中央合同庁舎	横堀 正敏
H24.10.29	(財)埼玉県産業振興公社 第3回評議員会	(財)埼玉県産業振興公社	新井 尚機

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H24.10.30	第83回関東信越国税局酒類鑑評会技術研究会	さいたま新都心合同庁舎	増田 こずえ 横堀 正敏 南澤 賢 鈴木 康修
H24.10.30	第83回関東信越国税局酒類鑑評会表彰式	さいたま新都心合同庁舎	新井 尚機
H24.11.1	食品関係技術研究会	エポカルつくば	常見 崇史 成澤 朋之
H24.11.15	平成24年度公開調査研究発表会	新都心合同庁舎	小島 登貴子
H24.11.27	AACC日本支部講演会	製粉会館	小島 登貴子 鶴菌 大 海野 まりえ 成澤 朋之
H24.12.5	食の安全と健康シンポジウム	大宮ソニックシティ	小島 登貴子
H24.12.6	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 分析分科会、計測分科会	ホテル福島グリーンパレス	鈴木 理博 大木 健司
H24.12.11	産業技術連携推進会議 第45回関東甲信越静 地域部会 食品・バイオ分科会	(独)産業技術総合研究所 つくばセンター	小島 登貴子 鶴菌 大
H25.1.7	熊谷捺染組合新年総会	熊谷レストランアーク	新井 尚機
H25.1.7	埼玉県酒造組合・全員協議会	キングアンバサダーホテル	新井 尚機 横堀 正敏 鶴菌 大 南澤 賢
H25.1.10	所沢織物商工協同組合賀詞交換会	ヘリテイジ・リゾーツ飯能	新井 尚機
H25.1.18	埼玉県生麺業協同組合新年会	大宮サンパレス	小島 登貴子
H25.1.22	さいたま医療ものづくりフォーラム2013	新都心ビジネス交流プラザ	成澤 朋之
H25.1.24	埼玉醤油工業協同組合新年会	ホテルガーデンパレス	新井 尚機
H25.1.30	彩の国ビジネスアリーナ	さいたまスーパーアリーナ	小島 登貴子 樋口 誠一 成澤 朋之
H25.2.6	埼玉県農商工連携フェア	さいたまスーパーアリーナ	高木 利光 小島 登貴子 樋口 誠一
H25.2.19	NMIJ分析技術向上支援プログラム	すみだ産業会館	鈴木 理博
H25.2.20	埼玉県漬物協同組合新年会・研修会	埼玉グランドホテル深谷	新井 尚機
H25.2.21	食品試験研究推進会議	つくば国際会議場	新井 尚機 富永 達矢
H25.3.1	TKFフォーラム	神奈川県産業技術センター	常見 崇史 鶴菌 大
H25.3.8	国際食品・飲料展	幕張メッセ	常見 崇史
H25.3.22	平成24酒造年度春季清酒鑑評会表彰式	マロウドイン熊谷	新井 尚機
H25.3.26	(財)埼玉県産業振興公社 第4回評議員会	(財)埼玉県産業振興公社	新井 尚機

6 情報提供

当センターの利用を促進し、業務の成果・結果などを公表するため、各種印刷物の発行やウェブサイト上での情報発信を行った。また、記者発表等を行うことにより、各種メディアに取り上げられた。

6.1 研究報告

研究報告 第10巻(平成24年度) 平成24年7月発行

6.2 利用促進

6.2.1 業務報告

平成23年度 業務報告 平成24年8月発行

6.2.2 インターネットによる技術情報の提供

(1) ウェブページ

当センターのインターネットウェブページで主に以下の内容について情報提供した。

- ・ 平成15年度～平成23年度研究報告
- ・ 依頼試験案内、開放機器の案内、開放機器研修日程
- ・ 技術アドバイザー制度の案内、技術アドバイザーデータベース
- ・ 貸会議室、貸研究室
- ・ 研修会、講演会等の開催案内
- ・ 企業データベース
- ・ 他機関との連携による各種支援情報
- ・ セミナー、講習会情報
- ・ 新規導入機器の紹介

(2) メールマガジン等

県内中小企業の新技术・新製品の開発を支援するため、当センターに関連する産業情報をメールマガジンにより迅速に発信した。

発行件数 21件

また、電子メールによる「インターネット技術相談窓口」には1,179件の問い合わせがあった。

6.2.3 記者発表

年月日	タイトル
H24.6.29	産業技術総合センターは、公益社団法人日本技術士会埼玉県支部と連携して、県内中小企業の現場力向上のための支援強化に取り組めます。
H24.9.14	平成24年度 SAITEC 研究発表会を開催します
H24.9.28	専門家4団体との連携による県内中小企業への支援強化について

6.2.4 マスメディア報道

(1) 新聞報道

年月日	新聞名	内容
H24.4.5	埼玉新聞	酒造り学校開校記事
H24.4.13	日本経済新聞	技術研修実施予告(中小向け新入社員研修 CAD など)
H24.4.20	日本経済新聞	SAITEC の中小企業への節電・省エネ支援強化について
H24.4.20	日本経済新聞 WEB	SAITEC の中小企業への節電・省エネ支援強化について
H24.5.2	埼玉新聞	群馬、新潟、埼玉の公設試の手数料等均一について
H24.5.10	日刊工業新聞	BEMS/HEMS 実験開始
H24.5.10	日刊工業新聞 WEB	BEMS/HEMS 実験開始
H24.5.30	日刊工業新聞	国際規格への対応支援 1都4県公設試
H24.5.31	フジサンケイビジネスイ	イノベーションズアイ SAITEC 入居企業紹介(SAITEC のコメント付き)
H24.6.13	日本経済新聞	SAITEC ものづくり開発支援研修の紹介 構造解析の基礎から応用へ
H24.6.21	日本経済新聞(夕刊)	自治体の節電支援の記事中、SAITEC の取り組みと写真が掲載

年月日	新聞名	内容
H24.7.4	日本経済新聞	第 537 回埼玉県鋳物技術講習会案内
H24.7.17	日刊工業新聞	県内中小企業に技術支援(SAITEC の、技術士会埼玉支部との連携について)
H24.8.22	日刊工業新聞	超微細深穴加工について
H24.8.30	日本経済新聞	3D デジタル技術コース初級 サーフェスマデリングセミナー案内
H24.9.1	埼玉新聞	SAITEC による金融機関向け研修について
H24.9.5	日刊工業新聞	中小の輸出後押し MTEP について
H24.9.7	日経産業新聞	セミナー案内 WEB マーケティング×ソーシャルメディア活用塾
H24.9.19	日刊工業新聞	入居者を募集 (貸研究室)
H24.10.5	日刊工業新聞	SAITEC 研究発表会が開催されたことの記事
H24.10.5	埼玉新聞	県内地酒アピール大試飲会記事 (記事中、新井北部所長のコメントあり。)
H24.10.11	埼玉新聞	県内中小企業への支援強化 新たに3つの専門団体と連携
H24.10.12	日刊工業新聞	食品・バイオ研究成果発表 (北部研究所 研究発表会案内)
H24.10.25	日本経済新聞	中小の海外進出後押し 1都4県の研究機関連携(MTEP)
H24.10.31	埼玉新聞	酒類鑑評会の記事 (北部研究所横堀主研コメントあり)
H24.11.3	埼玉新聞	埼玉北部地域技術交流会 開催案内
H24.11.30	日刊工業新聞	埼玉県産業振興懇談会記事 センター長の SAITEC 支援について発言
H24.12.24	日刊工業新聞	座位姿勢計測の国際規格 臨床応用ガイドラインの原案作成。海外専門家と共同で。
H25.1.4	埼玉新聞	先端技術で新酵母 ((独)理化学研究所との共同研究)
H25.1.21	日刊工業新聞	試作品迅速に提供(さいたま市財団の支援策記事、SAITEC の役割が紹介)
H25.1.21	埼玉新聞	技能振興シンポジウム (センター長がパネラーで参加)
H25.1.25	日刊工業新聞	SAITEC と企業の共同開発製品について
H25.1.30	日刊工業新聞	鋳造カレッジについて
H25.2.7	日刊工業新聞	さいたま市産業創造財団ものづくりプラットフォームについて (センター長と市財団理事長の対談記事)
H25.2.8	日本経済新聞	中小企業が知っておくべき情報セキュリティ対策講座 開催案内
H25.2.13	日本経済新聞	アレルギー血液検査機 10分で判定 (次世代産業プロジェクト)
H25.2.18	日経産業新聞	アレルギー判定 10分で 埼玉の産学官 (次世代産業プロジェクト)

(2) テレビ・ラジオ報道

年月日	テレビ・ラジオ名	番組名	内容
H24.5.16	NHK テレビ	ためしてガッテン	油あげ食卓のおかず倍増計画 (測定データ表示と、SAITECの名称が放送)
H24.5.30	NHK テレビ	ためしてガッテン	うどん! 裏技・コシ技 美味技これでもか SP (ゆで麺の水分分布の測定データ表示)

(3) その他雑誌報道

年月日	雑誌名	内容
H24.5.29	川口産業振興公社 公社だより No. 146	SAITEC 機器紹介 27 顕微赤外分光分析装置
H24.9.1	アクセス埼玉 9月号	貸研究室入居者募集
H24.9.4	川口産業振興公社 公社だより No. 147	SAITEC 機器紹介 28 電磁波試験測定装置
H24.9.5	建築設備と配管工事 2012年10月号	エネルギー管理システム 実証実験について
H24.9.25	川口鋳物ニュース	川口鋳物工業協同組合伊藤理事長あいさつ中に SAITEC への言及有り
H24.10.1	機械技術 10月号	超微細ドリル実用化へ (小記事)
H24.10.1	型技術 10月号	超微細ドリル実用化へ (小記事)
H24.12.10	クリーンエネルギー 12月号	エネルギー管理システム 実証実験について (再録)

年月日	雑誌名	内容
H24.12.11	ためしてガッテン(Vol.16)	油揚げ(物性)、うどん(物性) テレビ番組用試験データへの再録(NHK 出版)
H25.1.1	機械技術 1月号	低周波振動を利用した微細深穴加工
H25.1.11	川口産業振興公社 公社だより No. 148	SAITEC 機器紹介 29 表面粗さ・輪郭形状測定機

7 起業化支援

起業家や新事業分野に進出する中小企業を技術・経営両面から支援するため、研究開発のスペースとして貸研究室22室を設置している。

7.1 入居企業

(1) 貸研究室(平成24年度実績)

No.	入居者名	住所	分野	備考
1	エスコウインズ(株)	川口市	産業機器	
2	(株)エプセム	川口市	産業機器	
3	(株)バーテックス	東京都港区	筆記具	
4	(有)ジャパン・ラム	広島県福山市	バイオ産業	2室利用
5	イネイブル(株)	川口市	光学機器	2室利用、H25.3.29退居
6	ジェナシス(株)	川口市	バイオ産業	
7	(株)セネコム	川口市	産業機器	
8	アルスロデザイン(株)	川口市	医療機器	
9	真韻(株)	川口市	産業機器	H25.3.27退居
10	ライトロン(株)	さいたま市	光学機器	H24.10.31退居
11	エムテック化学(株)	川口市	工業製品	
12	ヒラソルバイオ(株)	さいたま市	バイオ産業	H24.10.31退居
13	ビタミン C60 バイオリサーチ(株)	東京都中央区	化粧品原料	H24.12.1入居
14	(株)ハーベス	さいたま市	化学工業製品	
15	(株)ニック	川口市	産業機器	
16	(有)T4	東京都荒川区	産業製品	
17	Shimada Appli(同)	さいたま市	産業機器	
18	フルイドウェアテクノロジーズ(株)	川口市	流体チップ製品	2室利用

※ この他2室を(財)埼玉県産業振興公社が埼玉バイオプロジェクト・コア研究室として使用している。

7.2 支援実績

	支援内容	利用企業数	利用件数
1	センター研究員による技術相談	10企業	121件
2	インキュベーション・マネージャーによる経営相談	11企業	249件
3	依頼試験の利用を通じた技術支援	3企業	21件
4	開放機器の利用を通じた技術支援	3企業	49件
5	試作加工室の提供	6企業	131件
6	各種情報提供(セミナー、助成金、展示会など)	提供件数:56件	

8 人材育成

県内中小企業等の人材を育成するため、研修生の受け入れ等を行った。また、技術競技会における表彰を行った。

8.1 研修生の受け入れ

8.1.1 中小企業等研究者養成研修事業

県内中小企業等の研究者及び技術者の資質の向上を図り、その技術力、研究開発力を強化することを目的として、研修生を受け入れた。

本 所

期 間	受け入れ機関名	受け入れ人数	日 数	担当者
H24.4.1～H25.2.28	製造業	1	5	戦略プロジェクト推進担当 関根 正裕
H24.5.11～H25.2.25	埼玉大学	1	14	材料技術担当 進藤 久宣
H24.5.11～H24.11.14	埼玉大学	1	4	材料技術担当 進藤 久宣
H24.5.11～H24.11.14	埼玉大学	1	3	材料技術担当 進藤 久宣
H24.5.15～H25.3.31	製造業	1	13	機械技術担当 山田 岳大
H24.8.13～H25.2.8	製造業	1	5	戦略プロジェクト推進担当 関根 正裕
H24.8.20～H24.9.27	東洋大学	1	15	化学技術担当 熊谷 知哉
H24.8.27～H24.9.7	埼玉大学	1	10	機械技術担当 出口 貴久
H24.8.27～H24.9.7	東洋大学	1	10	機械技術担当 出口 貴久
H24.11.13	埼玉大学	1	1	材料技術担当 清水 宏一
H24.11.13	埼玉大学	1	1	材料技術担当 清水 宏一
H24.11.13～H24.12.21	武蔵野美術大学	1	4	機械技術担当 町田 芳明
H24.11.13～H24.12.21	武蔵野美術大学	1	4	機械技術担当 町田 芳明
H24.11.21～H25.2.28	製造業	4	2	機械技術担当 山田 岳大
H24.12.10～H25.2.7	埼玉工業大学	1	6	機械技術担当 町田 芳明
本 所 計		18	97	

北部研究所

期 間	受け入れ機関名	受け入れ人数	日 数	担当者
H24.4.26～H25.3.22	個人	1	81	食品・バイオ技術担当 海野 まりえ
H24.7.2	製造業	10	1	食品・バイオ技術担当 鶴菌 大 事業化支援担当 北村 英三
H24.8.20	女子栄養大学	6	1	食品・バイオ技術担当 成澤 朋之 小島 登貴子
H24.8.23～H25.3.29	個人	1	10	食品・バイオ技術担当 南澤 賢
H24.8.27～H24.9.14	東洋大学	1	15	食品・バイオ技術担当 鈴木 康修
H24.10.15～H25.3.5	製造業	1	28	食品・バイオ技術担当 横堀 正敏
H24.11.26～H24.12.4	個人	1	3	食品・バイオ技術担当 横堀 正敏
北部研究所 計		21	139	

	受け入れ実績	
本 所	18 名	97 日
北部研究所	21 名	139 日
合 計	39 名	236 日

8.1.2 インターンシップ事業

埼玉県では、学生の職業意識の醸成と県政への理解を深めることを目的として、県庁・地域機関でのインターンシップを実施している。この制度で受け入れた研修生は以下のとおりである。

本 所

期 間	受け入れ機関名	人数	研 修 内 容	担当者
H24.8.27～H24.9.7	埼玉大学	1	金属材料・評価技術全般	材料技術担当

8.1.3 平成 24 年度 鑄造カレッジ事業(関東地区)インターンシップ

テーマ	技術と経営力を持つ次世代鑄造人材の育成を目的に実施された鑄造カレッジにおける関東地区のインターンシップ事業を企画し、下記概要のとおり実施した。
概 要	1. ねずみ鑄鉄の熱分析と接種及びその評価 2. 球状黒鉛鑄鉄の球状化処理とフェーディング及びその評価 3. 工場見学と討議
場 所	埼玉県産業技術総合センター
期 間	(1,2)平成 25 年 1 月 28 日～2 月 1 日 (3)平成 25 年 2 月 15 日
参加人数	(1,2)20 名 (3)36 名

8.2 技術競技会

8.2.1 第48回埼玉県鑄造技術コンクール

鑄造技術の向上は、企業個々の不断の努力と研鑽が重要であり、昨今の諸外国の追い上げや経済環境の急激な変化等によりその重要性は益々高くなってきている。

埼玉県鑄造技術コンクールは、鑄物製造技術の更なるレベルアップを目的に埼玉県と川口鑄物工業協同組合が共催で行っており、今年で48回目になる。課題を設定し高品質かつ正確に作ることを競っている。

今回は、ねずみ鑄鉄部門のべ18社、球状黒鉛鑄鉄部門のべ15社の参加で行われ、入賞者は次のとおりであった。

受賞工場一覧

ねずみ鑄鉄部門

賞名	事業所名	製作者名(敬称略)
埼玉県知事賞	株式会社大六鑄造	菅原 孝
埼玉県産業労働部長賞	永井機械鑄造株式会社	土山 俊明
川口鑄物工業協同組合理事長賞	富和鑄造株式会社	徳重 憲勇
川口市長賞	株式会社マスセイ	田中 雅彦
社団法人日本鑄造協会会長賞	永井機械鑄造株式会社	小林 秀駿
財団法人素形材センター会長賞	株式会社辻井製作所	橋本 夏樹
川口機械工業協同組合理事長賞	不二工業株式会社	笹山 大輔
川口木型工業協同組合理事長賞	不二工業株式会社	昆 佑樹
川口鑄物技術センター委員長賞	株式会社椿本鑄工	川合 秀和
株式会社神戸製鋼所社長賞	株式会社シグマ製作所	佐藤 光秋
神鋼商事株式会社社長賞	吉村工業株式会社	日色 昭憲

球状黒鉛鑄鉄部門

賞名	事業所名	製作者名(敬称略)
埼玉県知事賞	永井機械鑄造株式会社	佐々木 健治
埼玉県産業労働部長賞	株式会社永瀬留十郎工場	須藤 昇
川口鑄物工業協同組合理事長賞	前澤工業株式会社	猪野 康弘
川口市長賞	株式会社辻井製作所	森 佑司
川口商工会議所会頭賞	株式会社永瀬留十郎工場 櫛引工場	五十嵐 晋一
財団法人川口工業会館理事長賞	児玉鑄物株式会社	蛭川 典央
川口鑄物技術センター委員長賞	不二工業株式会社	石井 鉄也
埼玉鑄物技能士会会長賞	富和鑄造株式会社	吉田 浩司
新日鐵住金株式会社社長賞	吉村工業株式会社	小林 英之

8.2.2 平成 24 年度(第 55 回)埼玉県めっき技術競技会

埼玉県、埼玉県鍍金工業組合との共催により、埼玉県中小企業団体中央会、フジサンケイ ビジネスアイ(日本工業新聞社)、産業通信社の協賛を得て、装飾用クロムめっきの部、亜鉛めっきの部、工業用クロムめっきの部、バレル亜鉛めっきの部の 4 つの部門で行われた。

今年度の参加状況は装飾用クロムめっきの部 8 社、亜鉛めっきの部 9 社、工業用クロムめっきの部 8 社、バレル亜鉛めっきの部 6 社の合計 31 社の参加があり、入賞者は以下のとおりであった。

審査結果

表彰区分	部門	装飾用クロムめっきの部	亜鉛めっきの部	工業用クロムめっきの部	バレル亜鉛めっきの部
埼玉県知事賞		(有)小林鍍金工業	(株)大宮鍍金工業 濱松 宏幸	吉野電化工業(株)	(有)高松鍍金工業所
埼玉県産業労働部長賞		(株)甲斐野テックス	押尾化学工業(有)	新硬クローム工業(株)	押尾化学工業(有)
埼玉県産業技術総合センター長賞		小松原鍍金工場 小松原 秀元	(有)池澤鍍金工業所 中村 大介	川口ハードクロム工業(有)	カツデン(株)
埼玉県中小企業団体中央会長賞		(有)今井メッキ工業所 今井 昭雄	(株)サン化学	(株)精硬クローム工業	(有)小築鍍金工業所
埼玉県鍍金工業組合理事長賞		(株)真工社	吉野電化工業(株)	(株)オーク埼玉工場 三根 聡史	(株)大倉
フジサンケイビジネスアイ賞		(有)渡辺鍍金工業所 澤畑 真樹	(有)阪本鍍金	(株)ミドリ技研 緑川 健雄	(株)小林鍍金工業
産業通信社賞			(有)小築鍍金工業所		

8.2.3 平成 24 酒造年度春季清酒鑑評会

平成 25 年 3 月 12 日に北部研究所で実施した。出品点数 100 点(20 場)

県産清酒の酒質の向上と醸造技術の改善を図り、業界の発展のため鑑評会を行う。きき酒審査結果、成分分析結果の優良であった 12 製造場の杜氏を入賞とし、そのうち特に優秀であった 5 製造場の杜氏に北部研究所長より技術優秀賞を授与した。

平成 24 酒造年度春季清酒鑑評会技術優秀賞(組合員名簿順)

酒造場名	酒銘	杜氏名
大瀧酒造(株)	九重桜	菅原 實
(株)小山本家酒造	金紋世界鷹	杉本 純希
(株)文楽	文 楽	村上 大介
小江戸鏡山酒造(株)	鏡 山	柿沼 和洋
寒梅酒造(株)	寒 梅	鈴木 隆広

8.3 ものづくり開発支援研修

県内中小企業等のものづくり開発を支援するため、ものづくり商品デザインコース、デジタルモデリングコースのほか、その他の研修を開催した。ものづくり商品デザインコースでは商品企画、デザイン、マーケティングに関する内容を、デジタルモデリングコースではCAD/CAE/RPや三次元形状取り込みに関する内容を実施し、その技術力の向上を図った。

○ ものづくり商品デザインコース

年 月 日	研修科目名	講 師 名	修了者数
H24.9.19 10.10 11.7 12.12	WEBマーケティング×ソーシャルメディア活用塾研修	株式会社ブレイクオンスルー 代表取締役 結城 聡 氏	10
H24.12.5 12.6	デザイン表現スキルアップ研修 I Photoshop基礎講習、Illustrator 基礎講習	女子美術大学 准教授 グラフィックデザイナー 佐藤 真澄 氏	6
H25.2.18 2.19	デザイン表現スキルアップ研修 II Illustrator&Photoshop講習 (チラシデザインの印刷入稿データ を作成しよう)	女子美術大学 准教授 グラフィックデザイナー 佐藤 真澄 氏	11
H25.3.1 3.12 3.19 3.26	新商品開発からWEB活用による 販売促進までの基礎講座	1.武蔵野美術大学 教授 宮島 慎吾 氏 2.事業化支援室 製品開発支援担当 担当部長 影山 和則 3.株式会社諏訪田製作所 代表取締役 小林 知行 氏 4.株式会社ブレイクオンスルー 代表取締役 結城 聡 氏	6
合計(延べ数)	4 研修		33

○ デジタルモデリングコース

年 月 日	研修科目名	講 師 名	修了者数
H24.4.25	中小企業の新人教育、若手技術者 向けセミナー -新しい社会に対応するためのもの づくりの基礎をSAITECで学ぼう-	1.株式会社ケイズデザインラボ 代表取締役 原 雄司 氏 2.ソリッドワークス・ジャパン株式会社 東日本事業部 テリリーセールスマネージャー 寺内 和彦 氏 3.株式会社ゼネテック エンジニアリング・ソリューション本部 技術部 営業技術課 課長 佐原 宗樹 氏 4.ソリッドワークス・ジャパン株式会社 営業技術部 シミュレーション課 課長 大澤 美保 氏 5.株式会社スリーディー・システムズ・ジャパン パーソナル&プロフェッショナル 3D プリンタ事業部 ディレクター 小林 広美 氏	27
H24.6.14	構造解析の基礎から応用へ (非線形、振動、疲労問題へのアプ ローチ)	株式会社構造計画研究所 SBD営業部 構造ソリューション室室長 佐橋 直樹 氏	22
H24.7.20	ものづくり開発支援研修 デジタル モデリングコース 3Dデジタイジング/ラピッド・プロ タイピング研修	技術支援室 機械技術担当 担当部長 町田 芳明	9

年 月 日	研修科目名	講 師 名	修了者数
H24.10.11 10.18 10.25	デジタルモデリングコース Rhinceros中級研修	otobe.design 乙部 博則 氏	5
H24.11.6 11.7	デジタルモデリングコース SolidWorks初級研修	株式会社ケイジー・ラボラトリーズ 代表 國岡 保弘 氏	2
H25.3.14 3.15 3.21 3.22	デジタルモデリングデザインコース 組込みソフト入門	株式会社ケイジー・ラボラトリーズ 代表 國岡 保弘 氏	10
合計(延べ数)	6 研修		75

○ その他のコース

年 月 日	研修科目名	講 師 名	修了者数
H25.1.30	設計現場力を見える化する	郷ビジネスビジョン株式会社 代表取締役 郷 保直 氏	4
H25.2.22	中小企業が知っておくべき 情報セキュリティ対策講座	特定非営利活動法人埼玉ITコーディネータ 理事長 小暮 英夫 氏 理 事 戸村 修 氏	9
H25.2.26	一から学ぶ人のためのRoHS入門	一般社団法人埼玉県中小企業診断協会 関口 大介 氏	6
H25.2.28	材料試験の基礎と最新技術紹介	株式会社島津製作所 分析計測事業部 グローバルマーケティング部 主任 宮崎 然 氏 東京支社 土井 彰一 氏	8
合計(延べ数)	4 研修		27

○ 合計

研修コース	研修数	修了者数
ものづくり商品デザインコース	4	33
デジタルモデリングコース	6	75
その他	4	27
合計(延べ数)	14	135

8.4 科学技術体験学習の実施

8.4.1 スーパーサイエンスハイスクール事業

本所

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定された浦和第一女子高等学校と連携し、センター職員が講義する 9 つのテーマを通じて、先端技術との出会いや現場の研究者・技術者と交流を図った。

- (1) 日 時 平成 24 年 12 月 12 日(水)
- (2) 場 所 埼玉県産業技術総合センター
- (3) 人 数 42 名 (浦和第一女子高等学校 1 年生)
- (4) 学習内容
 - ① 鋳物づくり体験学習
 - ② X線による非破壊検査体験学習[X線撮影・現像・評価等]
 - ③ 天然水中のミネラル分の測定
 - ④ プラスチックの識別
 - ⑤ デザインのアイデアを実体にする方法
 - ⑥ 金属の電解研磨
 - ⑦ 二酸化炭素の状態観察(超臨界流体の可視化)
 - ⑧ 自作アンテナによる地デジの受信と電波の観察
 - ⑨ 情報化社会を支える暗号技術について

北部研究所

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定された熊谷女子高等学校と連携し、センター職員が講義する 4 つのテーマを通じて、先端技術との出会いや現場の研究者・技術者と交流を図った。

- (1) 日 時 平成 24 年 10 月 3 日(水)
- (2) 場 所 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所
- (3) 人 数 23 名 (熊谷女子高等学校 1 年生)
- (4) 学習内容
 - ① お酒を造る酵母はアルコールに強يدらうか?
 - ② 異物混入の原因を探る
 - ③ 天然水中のミネラル分の測定
 - ④ 型紙由来のデザインの作成

9 その他の事業

9.1 職員研修

職員の技術力向上に資するため、各種研修会に職員を参加させるとともに、職場研修を実施した。

本 所

研修機関・講座名	期 間	場 所	研修者
新規採用職員指導員研修	H24.5.2	自治人材開発センター	山田 岳大
金属材料の腐食対策(腐食理論と防食技術)	H24.6.7~6.8	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度職業能力開発促進センター	福島 泰年
エスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社 X線スクール(膜厚測定コース)	H24.7.19	エスアイアイ・ナノテクノロジー(株) 東京営業所	福島 泰年
第82回東北大学金属材料研究所 夏期講習会	H24.7.25~7.27	東北大学金属材料研究所	菊池 和尚
経済産業省 関東経済産業局・MFCA普及セミナー	H24.8.22	(地独)東京都立産業技術研究センター	出口 貴久
新商品開発支援の進め方 ～アイデア発想とコンセプト策定の秘訣～	H24.12.11 ～12.14	中小企業大学校 東京校	荻野 重人
中小企業の海外展開支援の進め方	H24.12.17 ～12.19	中小企業大学校 東京校	小口 正浩
公設試験研究機関研究職員研修(座学)	H25.1.15~1.18	中小企業大学校 東京校	原田 勝利 内藤 丈資

北部研究所

研修機関・講座名	期 間	場 所	研修者
イムクロマト講習会	H24.5.29	TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター	富永 達矢
材料解析テクノフォーラム	H24.6.8	品川グランドセントラルタワー	常見 崇史
大塚電子 CAPI 分析ミニセミナー	H24.7.24	大塚電子(株) 東京支店	成澤 朋之
清酒官能評価セミナー	H24.10.23, 10.25	(独)酒類総合研究所東京事務所	南澤 賢
島津フードセーフティフォーラム	H24.11.9	プラザノース	成澤 朋之
JEOL分析機器ユーザーズミーティング(MS)	H24.11.20	東京大学 本郷キャンパス	成澤 朋之
公設試験研究機関研究職員研修(座学)	H25.1.15~1.18	中小企業大学校 東京校	成澤 朋之
製パン技術基礎コース	H25.1.21~1.26	(社)日本パン技術研究所	海野 まりえ
JEOL「食品分析ソリューションセミナー」	H25.2.6	東京大学 山上会館	常見 崇史
Bio 電顕セミナー	H25.3.7	かながわサイエンスパーク	常見 崇史

職場研修

名 称	期 日	会 場	参加人数
試験所認定関連研修会 講師:(独)産業技術総合研究所 城野 克広 氏 話者:事業化支援室 巻島 秀男	H25.2.7	埼玉県産業技術総合センター 4AB会議室	26

9.2 顧客満足度（CS）アンケート

平成 16 年 1 月から利用者の声を生かした事業の充実を図るため、北部研究所を含め顧客満足度(CS)調査を実施している。

アンケート対象は、依頼試験、技術相談、開放機器利用等で来所した利用者である。

アンケート期間は平成 24 年 8 月、9 月及び 10 月である。回収分の集計結果の概要は次のとおりである。

(1) 回答数 延べ 176 件

(2) 依頼試験

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
職員の対応	79%(66 件)	5%(4 件)	5%(4 件)	1%(1 件)	0%(0 件)	10%(8 件)
試験内容	64%(53 件)	8%(7 件)	6%(5 件)	0%(0 件)	0%(0 件)	22%(18 件)

(3) 機器開放

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
職員の対応	92%(62 件)	7%(5 件)	1%(1 件)	0%(0 件)	0%(0 件)	0%(0 件)
機器について	82%(56 件)	12%(8 件)	6%(4 件)	0%(0 件)	0%(0 件)	0%(0 件)

(4) 技術相談

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
職員の対応	72%(18 件)	16%(4 件)	4%(1 件)	0%(0 件)	0%(0 件)	8%(2 件)
アドバイス内容	52%(13 件)	24%(6 件)	4%(1 件)	0%(0 件)	0%(0 件)	20%(5 件)

9.3 運営委員会の開催

埼玉県産業技術総合センターの事業・研究業務の効果的な運営を図るため、外部有識者からなる「埼玉県産業技術総合センター運営委員会」を 2 回開催し、業務内容等を検討した。

9.3.1 開催状況

(1) 第 1 回運営委員会

(ア) 日 時:平成 24 年 9 月 3 日(月)

(イ) 場 所:埼玉県産業技術総合センター 5 階交流サロン

(ウ) 議 題

① 本年度の活動報告と方針について

(エ) 参加人数

運営委員 4 人 埼玉県 11 人 計 15 人

(2) 第 2 回運営委員会

(ア) 日 時:平成 25 年 3 月 18 日(月)

(イ) 場 所:埼玉県産業技術総合センター 5 階交流サロン

(ウ) 議 題

① 本年度の活動報告と来年度の方針について

② その他

(エ) 参加人数

運営委員 7 人 埼玉県 10 人 計 17 人

9.3.2 運営委員

(敬称略, 順不同)

伊藤鉄工(株)

埼玉工業大学

(独)産業技術総合研究所

小原歯車工業(株)

田中製麺(株)

東京電機大学

(株)東立製作所

東洋大学

代表取締役

教授

産学・地域連携室長

代表取締役

代表取締役

教授

取締役社長

工業技術研究所長

伊藤 光雄(副委員長)

榎本 勝

尾崎 浩一

小原 敏治

田中 孝

富田 英雄(委員長)

松川 ヨシ子

松元 明弘